

**武蔵野市第六期長期計画
無作為抽出市民ワークショップ
報告書**

(平成30年6月24日・30日開催)

武蔵野市

目 次

1. はじめに	1
2. 実施概要	2
3. 無作為抽出市民ワークショップ 1日目	3
4. 無作為抽出市民ワークショップ 2日目	6
5. ワークショップを通じた意見のまとめ	8
6. 参加者アンケート結果	25
7. 市民ファシリテーターについて	38
8. 参考資料	40

1. はじめに

長期計画は、市の長期計画条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画です。武蔵野市では、昭和46年（1971年）に第一期基本構想・長期計画を策定して以来、現在まで定期的に計画の策定と見直しを行い、これらに基づいて計画的な市政運営を推進してきました。今回策定する第六期長期計画は平成32年度（2020年度）を初年度とする計画期間10年の計画であり、平成30年度（2018年度）から2カ年度にわたって策定作業を行います。

策定にあたっては、第一期基本構想・長期計画の策定以来の本市の特長である「武蔵野市方式」とよばれる、市民参加・議員参加・職員参加を継承しつつ、多様で広範な市民参加手法を取り入れていきます。幅広い市民の意見を長期計画に反映させていくために、学識経験者等の市民9名と副市長2名で構成する策定委員会が中心となって総合調整を行いながら計画案を作成するほか、公募による市民会議、無作為抽出した市民によるワークショップ（以下、「ワークショップ」という）、パブリックコメント、意見交換会等を実施します。

今回は上記のとおり、多様な市民参加手法のひとつとして、市政に参加する機会があまりない市民の方からも広く意見をいただくことを目的として、ワークショップを開催しました。平成30年4月10日時点で、市内に住民登録のある18歳以上の方から1,000名を無作為に選んで案内を送付し、参加者を募集しました。平成30年6月24日と30日の2日間に渡り開催し、1日目52名、2日目48名ご参加いただきました（P.2「実施概要」参照）。

無作為に抽出した市民によるワークショップは、第五期長期計画及び第五期長期計画・調整計画の策定の際にも実施しましたが、今回のワークショップの特徴は、全体の進行及び各グループでの対話の進行を務める「市民ファシリテーター」を初めての試みとして導入したことです。参加者である市民と同じ目線に立ち、各グループの進行を担っていただきました。

市民ファシリテーターは、ファシリテーションや地域をつなぐコーディネート力を学ぶための市の事業である「コミュニティ未来塾むさしの」の修了生に依頼し、10名の方々に協力をいただきました。

この報告書は、第六期長期計画策定委員会に送付され、今後の計画策定における参考資料とします。

平成30年9月
武蔵野市

2. 実施概要

募集方法

市内に住民登録のある18歳以上の方から1000名を無作為に抽出し、案内を送付しました。うち、850名は年齢18歳以上の市民からの無作為抽出を行い、150名は18歳～30歳から無作為抽出を行いました。過去に行った無作為抽出型のワークショップでは若い年代の応募が少ない傾向があったため、応募者の年代に大きな偏りが生じぬよう、30歳以下の抽出数を多く設定したものです。

応募者の内訳

区分	人数	割合
男性	29名	43.3%
女性	38名	56.7%
合計	67名	100%

区分	人数	割合
～20代	9	13.4%
30代	8	11.9%
40代	9	13.4%
50代	15	22.4%
60代	7	10.4%
70代	15	22.4%
80代	4	6.0%
全体	67	100%

実施結果

【第1回】6月24日（日） 午後1時～午後5時
場所 芸能劇場 小ホール
参加人数 男性25名、女性27名、計52名（9グループ）
市民ファシリテーター 8名
※傍聴者 2名、託児2名

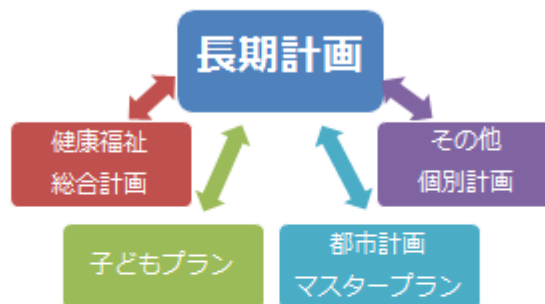
【第2回】6月30日（土） 午後1時～午後5時
場所 市役所 811会議室
参加人数 男性20名、女性26名、計46名（9グループ）
市民ファシリテーター 10名
※傍聴者 3名、託児2名

3. 無作為抽出市民ワークショップ 1日目

Step 1 目的・趣旨説明

・事務局から第六期長期計画策定の流れとワークショップの目的・趣旨の説明を行いました。

長期計画とは



- 市の条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画
- 第六期長期計画：2020年度から2029年度まで
- **市民参加**・議員参加・職員参加により策定



(ワークショップ 説明資料)

Step 2 自己紹介

- ・各グループにおいて、参加者自身が、どのような場所で生まれ、育ち、どういった背景（ライフヒストリー）を語り合う自己紹介から始まり、お互いに確認しました。
- ・最初は緊張していた方も多くありましたが、市民ファシリテーターの市川順子さんの全体進行に加え、各グループの市民ファシリテーターの進行により、リラックスした対話のしやすい雰囲気をつくりました。



Step 3 ワークショップの進め方の説明

- ・市民ファシリテーターから、ワークショップの進行について説明をしました。
 - ①参加者は性別・年代・居住エリアが偏らないよう設定された9グループに分かれます
 - ②対話のルールの説明（相手の意見を否定せず尊重するなど）
 - ③テーマに沿って各自付せんに意見を書きます
 - ④付せんを模造紙に貼りながらグループ内で対話します※各グループに市民ファシリテーターを1名配置し、参加者同士の対話が円滑に進むようサポートしました。

Step 4 テーマ① 「関心があること」

- ・最初のテーマは武蔵野市で暮らして「関心があること」でした。
- ・普段の生活の中から、純粹な市民目線で意見を出しました。

Step 5 テーマ② 「気になること」

◆武蔵野市の特徴や第五期長期計画・調整計画の概要説明

- ・参加者の中には、武蔵野市に長く住んでいる方も住み始めたばかりの方もいるため、市について持っている情報にばらつきがあります。
- ・事務局からの説明により、武蔵野市や長期計画について知ったうえで、改めて武蔵野市で暮らして「気になること」というテーマで、考えをさらに深掘りしました。

Step 6 意見のカテゴライズ（分類）

- ・「関心があること」「気になること」を模造紙の上でカテゴライズ（分類）を行い、それぞれの考えを客観的にわかりやすいものにしました。

Step 7 10年後の武蔵野市を考える

- ・意見をカテゴライズした模造紙を眺めながら、市の「10年後のありたい姿」について、意見を出し合いました。



Step 8 全体共有

- ・各グループから参加者全体へどのような「関心があること」「気になること」があり、それを踏まえた市の「10年後のありたい姿」はどのようなものかの意見について発表し、共有しました。市民ファシリテーターによる発表だけでなく、参加者から率先して発表する場面も多くありました。
- ・全体で共有された意見をもとに市民ファシリテーターにより、2日目のワークショップで話し合う「10年後のありたい姿」をまとめました。以下の13のテーマです。市民の目線でとらえた、武蔵野市に望む将来像とも言えます。

Step 9 ワークショップ2日目に向けて（テーマ設定）

- A：愛着がある・好きでいられる・武蔵野ブランド**
- B：スポーツの熱と文化・芸術の香り**
- C：安心な子育て／地域で子育て**
- D：柔軟な働き方とライフスタイル**
- E：世代や暮らしのちがいを超えた地域のつながり**
- F：マイノリティ(LGBT・外国人など)も混ざりあう日常**
- G：緑があふれる・鳥のさえずりが聞こえる自然環境**
- H：防災・防犯への地域の備え**
- I：学生・若い世代のアイデアの活用**
- J：便利で安全な交通網・素敵な景観**
- K：身近に参加できる行政・上手な情報発信**
- L：高齢者・障がい者への優しい福祉・医療**
- M：ハコモノの有効活用**

4. 無作為抽出市民ワークショップ 2日目

Step 1 1日目の振り返り

- ・ 1日目のワークショップ振り返りのため、冒頭に1日目の様子をまとめた動画（事務局制作）を上映するところからスタートしました。

Step 2 ワークショップの進め方の説明

- ・ 市民ファシリテーターからワークショップの進行について説明をしました。
 - ①参加者は性別・年代・居住エリアが偏らないように設定された9グループに分かれます（前半のみ）
 - ②対話のルールの説明（相手の意見を否定せず尊重するなど）
 - ③テーマに沿って各自付せんに意見を書きます
 - ④付せんを模造紙に貼りながらグループ内で対話します※各グループに市民ファシリテーターを1名配置し、参加者同士の対話が円滑に進むようサポートしました。
- ・ 1日目のワークショップでまとめた13のテーマである「10年後のありたい姿」に対する「現状」そして、「ありたい姿を実現するには」について、深掘りして考えました。なお、時間を前半と後半に区切り、参加者は2つのテーマで対話しました。

Step 3 前半：あみだくじによるテーマ選び

- ・ ワークショップ前半は性別・年代・居住エリアが偏らないように設定した9グループに分かれました。グループごとにあみだくじでテーマを選びました。参加者によっては、当事者意識や関心の少ないテーマも話すことで、多様な立場から意見を出していただくことを目的としました。

Step 4 後半：参加者が希望するテーマ選び

- ・ ワークショップ後半は参加者自身で希望するテーマを選んでいただき、各テーマに関心ある参加者同士でグループをつくり、さらに意見を深掘りしました。



Step 5 全体共有

- ・ 前後半あわせて、13 テーマから 10 のテーマについて対話が行われ、成果物としてグループごとの模造紙が完成しました。模造紙に基づいて、グループから参加者全体に共有を行いました。1 日目と同様に。市民ファシリテーターによる発表だけでなく、参加者の中から率先して発表する場面も多くなりました。



※参考 各グループで選ばれたテーマ一覧

◆あみだくじによって選ばれたテーマ

テーマ	グループ数
D: 柔軟な働き方とライフスタイル	1
E: 世代や暮らしのちがいを超えた地域のつながり	1
F: マイノリティも混ざり合う日常	1
G: 緑あふれる・鳥のさえずりが聞こえる自然環境	1
K: 身近に参加できる行政・上手な情報発信	1
L: 高齢者・障がい者への優しい福祉・医療	3
M: ハコモノの有効活用	1

◆参加者が希望したテーマ

テーマ	グループ数
B: スポーツの熱と文化・芸術の香り	2
C: 安心な子育て: 地域で子育て	1
E: 世代や暮らしのちがいを超えた地域のつながり	2
G: 緑あふれる・鳥のさえずりが聞こえる自然環境	1
J: 便利で安全な交通網・素敵な景観	1
K: 身近に参加できる行政・上手な情報発信	1
L: 高齢者・障がい者への優しい福祉・医療	1

5. ワークショップを通じた意見のまとめ

2日目の話し合いのテーマとして設定したAからHまでの13のテーマのうち、各グループが選択したテーマ（A、H、Iを除く10のテーマ）について、各グループで参加者から出された意見は以下のとおりです。参加者は前半・後半で2つのテーマについて9グループに分かれて対話しました。話し合うテーマ（10年後のありたい姿）の選び方は、2日目の前半は「グループごとにあみだくじ」で、後半は「参加者自身の希望」により選びました。

B ・スポーツの熱と文化・芸術の香り

グループ①（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・武蔵野市民が盛り上がるスポーツチームがない
- ・使える施設が不明
- ・文化会館は改装する必要あった？
- ・予算を無駄遣いしていないか？
- ・ギャラリーが少ない
- ・日常的に美術に触れる機会が少ない
- ・音楽練習ができる公共施設が少ない
- ・市民プールが汚い・くさい
- ・安全にランニング・ウォーキングできる場所がない

【ありたい姿を実現するためには】

- ・学校に有名選手を呼ぶ
- ・横河をJ1に
- ・幅広いスポーツに触れられる機会をつくる→スポーツ祭り
- ・コミセンのPR
- ・施設運営の民間委託
- ・安さより質の高さ
- ・予算の効率的な使用
- ・市民アンケート
- ・街の中に展示物を設置
- ・学校の空き教室などのスペースを展示に活用
- ・まず清掃、監視員から清掃員にシフト
- ・電柱の地中化
- ・ランニングコースの電柱の地中化
- ・駅前に駐輪場を整備してほしい
- ・自転車のレンタル
- ・市の土地をマンションにするのではなく公共の施設に

グループ②（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・スポーツ施設の不足
- ・市役所周辺にスポーツ施設が偏っている
- ・野球ができる場所が少ない
- ・キャッチボールするスペースがほしい
- ・トレーニングをしたくても自宅から遠い
- ・夜間ランニングできる環境がほしい
- ・同じスポーツをやっている人がいないので西東京市の仲間に入っている
- ・地域（総合型）スポーツクラブの不足
- ・サッカーのリーグ戦化の遅れ
- ・障害者がスポーツに関われる場がほしい
- ・スキーは毎年市のバスで行かせてもらっているが年齢制限があって悲しい

【ありたい姿を実現するためには】

- ・施設建設用地の確保
- ・スポーツ施設の建設
- ・テニスコートやプールを増やす
- ・空き家の活用
- ・市内の大学設備の活用
- ・桜堤近くにスポーツ施設がほしい
- ・市長に地域スポーツクラブの視察のためにドイツにってもらおう
- ・地域スポーツクラブの実現に向けてワークショップを定期開催する
- ・指導者同士のネットワークづくり
- ・リーグ戦を上下につなげて構築する
- ・東京武蔵野 FC を J3 に昇格させるべく、地域として応援・協力する
- ・地元企業の協力・応援を得る
- ・芸術系のイベントを増やしてほしい
- ・市民の中のスペシャリストの講演会

C

・安心な子育て／地域で子育て

グループ①（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・ 保育園 好きなところに入れたい
- ・ 保育料で給料の半分を持っていかれる
- ・ 兄弟で入園 お金足りる？
- ・ 保育園の開園への反対の声
- ・ 子育て世代への援助
- ・ 所得に関わらない支援
- ・ 子育て支援に仕事をリタイヤした人が気軽に参加できれば
- ・ 見守りの仕方（手軽に誰でも？責任？）
- ・ 地域とのつながり
- ・ 子育て仲間づくり
- ・ 一時保育やファミリーサポート、予約必要でいざというとき使えない
- ・ 放課後の居場所、遊ぶ場所
- ・ 公共施設の利便性
- ・ 公園の整備（緑が多いとうれしいが、外から見えづらくもなる）
- ・ 共働き、働きながら子育て大変じゃない？
- ・ 忙しい
- ・ 今時の子育てのやり方がわからない
- ・ こども園はあるの？
- ・ 小中一貫校ってどうなの？
- ・ 子どもが施設にいる時間は長すぎないの？

【ありたい姿を実現するためには】

- ・ 少子化なら保育園などは無償か一律になるべき
- ・ 3人目の保育料を安く
- ・ 保育料なし+子ども手当
- ・ 好きなだけ産める出産費用助成
- ・ 兄弟姉妹が同じ保育園に入れるように
- ・ 保育園に反対する人たちに解決策を考えてもらう
- ・ 周囲の方々との関係性づくり・子育て卒業世代がお気軽に手伝いできる仕組み
- ・ 子育て支援時の双方への保険
- ・ 近所の人もお手伝いに入りやすい施設
- ・ 子どもの施設へのボランティア
- ・ 助けを求める人とできる人のコーディネート
- ・ 学校の活用
- ・ まなべえの発展
- ・ 公共施設に赤ちゃんを連れて行ける
- ・ 0123のような気軽に使える託児施設
- ・ 自転車専用道路の確保（ママチャリ、子どもの自転車の安全）
- ・ 若い世代への支援
- ・ PTAなど共働きでもできるように

D

・柔軟な働き方とライフスタイル

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・いまの働き方でいいのか？
- ・子育てと仕事の両立
- ・一律な働き方
- ・残業が多く自分の時間・生活時間がない
- ・会社と自宅の往復の毎日
- ・適法な労働環境が確保されていない
- ・通勤時間が長い
- ・正社員への漠然としたこだわり
- ・生涯現役？100年生きて働く？
- ・男性による家庭責任の分担
- ・武蔵野市は転職の情報が少ない
- ・ハローワークが三鷹市
- ・ムーバスは早朝走っていない
- ・深夜までオープンしているスーパー多い

【ありたい姿を実現するためには】

- ・リモートワーク・起業の誘致
- ・リモートワークなどの法整備
- ・サテライトオフィスの推奨
- ・柔軟な労働時間やサテライトオフィスの企業への働きかけ
- ・空き家をサテライトオフィスに
- ・インフラの整備
- ・資格取得の斡旋
- ・起業家への税制支援
- ・デンマークの事例を参考に
- ・副業や有給ボランティアの紹介
- ・40歳から人生2本立て
- ・自立起業を目指せ
- ・生きがいを考える
- ・カルチャースクールを増やす
- ・10年後の未来は自分でつくる
- ・男女の役割分担
- ・立法・行政に女性の参加を
- ・女性の子育てへの不安を取り払う子育て支援
- ・労働教育、ジェンダー教育で権利を知る
- ・20代の転入をくいとめる施策

E

・世代や暮らしのちがいを越えた地域のつながり

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・リタイヤされた方のスキルを生かして子どもたちと交流できないか
- ・異なる世代が出会う場所や情報がない
- ・子ども・若者と高齢者が同じように関心を持つテーマとは？
- ・地域交流に集うイベントがない
- ・町内会がないが、有志の方がすばらしい活動をしているすごい
- ・町内会がない中で、引っ越してきた人たちとどう接するのか？
- ・しゃべれない外国語教育
- ・防災時に老人世帯や単身世帯を把握しているのか
- ・防災イベントが届かない
- ・全く聞こえない災害アナウンス

【ありたい姿を実現するためには】

- ・子ども・高齢者がイベントだけではなく生活で出会う場があると良い
- ・高齢者のほりあいになる子育て活動への参加
- ・シニアの力をさらに活かせる場を
- ・学童やあそべえ・まなべえにシニアの力を
- ・日常的にシニアと子どもの交流
- ・大学生に子どもが教えることで自分の学び方もわかる経験になる
- ・世代間交流に若い親が参加できると良い
- ・世代間で学ぶ場
- ・大学祭への市民参加・出店
- ・新しい型のイベント
- ・コミセンイベント
- ・海外経験ある・外国人の方も校外時間に交流
- ・外国人の子育てへの参加
- ・楽しく歩ける・座れる場所

グループ①（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流ができる場所・機会が少ない ・自分に子や孫がいても世代の違いで入れない ・つながりのイメージがわきづらい ・ネットワークはどこにあるのか？ ・お互いを知らなさすぎる ・近いエリアの人との交流がない ・コミュニティでの集まり・交流の場がない ・世代を超えた交流がない ・価値観の近い人たちとつながりたくなる ・価値観の違う人たちとの交流がめんどろ、怖いと思ってしまう ・災害時の不安 ・安心・安全な地域をつくるリーダーが必要 	<p>【ありたい姿を実現するためには】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの晩御飯の支援 ・井戸端会議のできる環境 ・つながりのイメージを発信する ・つながりを結ぶコーディネーターが必要 ・単身世帯の若者・高齢者への声かけ ・声をかけあうコミュニティの形成 ・学校と地域のコミュニティ連携 ・集まれる場所がほしい ・小さなコミュニティ内でできる助け合い活動 ・違いをまず認識することから始める
---	--

グループ②（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション以外の地域のつながりが少ない ・表札でしかわからないが、実際に話すと良い人とわかる ・町内会の弱体化 ・商店街の弱体化 ・地域のもちつきなどの行事が少ない ・アパートやマンションが増えてつながりが減少 ・独居老人 ・お年寄りは赤ちゃんに優しい ・高齢者の方とつながる場がない ・親が働いている時間帯の子どもの見守り ・近隣の反対で保育園が開園できない ・点字ブロックの必要性和ベビーカーの押しやすさ 	<p>【ありたい姿を実現するためには】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ大会などへのイベント企画 ・日々あいさつすることでコミュニケーションを少しずつ増やす ・町内会への補助 ・商店街の復興・活性化 ・行事への支援 ・老人会と子ども会のコラボ ・子どもの見守りを地域のお年寄りに
---	--

F

・マイノリティも混ざりあう日常

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・駅から出た街の案内に英語表記が少ない
- ・外国人がアニメに興味を持って訪れることがない
- ・外国人との接し方、少し不安
- ・外国人と話し合っている雰囲気がない
- ・ICU、亜細亜大学などは環境が外国人向けで良い
- ・外国人を自宅に泊めるシステムがない
- ・LGBTについて学ぶ機会が少ない
- ・一人暮らしの老人の増加

【ありたい姿を実現するためには】

- ・オリンピックまでに案内を英語で揃える
- ・外国人向けアニメイベントの開催
- ・わかりあう気持ち、リスペクトをもって接する、受け入れの心
- ・知らない＝怖いではなく、学ぼうというメンタリティ
- ・英語よりも地図で書いて案内、和英・英和辞典を活用
- ・大学に通う外国人の意識調査
- ・LGBTについて学ぶ講座を行う
- ・LGBTのセーフスペースをつくる
- ・子ども向けに学ぶ機会をつくる
- ・一人暮らしの老人の調査を行う

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・公園が多い
- ・公園にホームレスがいない
- ・公園の木が多く暗い場所が多い
- ・小金井公園や井の頭公園は緑が多く走る時楽しい
- ・小金井公園のベンチが少ない
- ・井の頭公園のベンチが壊れたまま
- ・井の頭公園は古いトイレが多い
- ・花や木の名前を意外と知らない
- ・他の市より桜の木が多い？桜並木が見事
お花見に出かけなくても近所で十分楽しめる
- ・ゴミ箱は足りている？
- ・住環境は良好だと思う
- ・玄関を出ると緑と土があり心地よい・石畳がわずかな段差で危険、整備を
- ・切り株はすぐに撤去してほしい
- ・玉川上水の木の幹が太くて歩きづらい
- ・小学校のグラウンドが広い

【ありたい姿を実現するためには】

- ・高齢者・青年・子どもが共有できる自然
- ・相続による緑地対策をともに考える
- ・10年後も現在の緑ある姿を
- ・地域格差を超えて共有できる緑地
- ・おすすめランニングコースの周知
- ・本村公園のように下草落葉の活用の継続
- ・市民農園の充実を 高齢化社会には土が大切
- ・市に多い草花のわかる簡単なマップがほしい
- ・公園の草木に名札をかけてもらいたい
- ・ゴミ拾いを自主的にやれる教育を
- ・ゴミ箱を増やす
- ・ゴミの持ち帰りを強化する学校教育
- ・緑道の犬のフンの始末の徹底
- ・お掃除ボランティアの募集
- ・高齢者から子どもへの伝承

グループ①（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・ 個人の家でも緑や植栽が多く、鳥もやってきて、武蔵境にきてよかったと思う
- ・ 個人の家が道路にはみ出ている
- ・ さつきの植え込みが枯れたまま歯抜け
- ・ 緑、花、川、小鳥の鳴き声が多い
- ・ 外来植物が在来植物を圧迫している
- ・ 武蔵野の雑木林が放置されて状況悪化
- ・ 雑木林が江戸時代の人々を支えた歴史
- ・ 緑のないところと多いところがある
- ・ 緑が多すぎて暗くて人がいけない場所も
- ・ 武蔵境駅から北への武蔵境通りの街路樹に、上昇した気温に合わない木がある
- ・ 玉川上水の草花を残す基準が知りたい
- ・ 吉祥寺駅前に緑がないが、やむをえないか

【ありたい姿を実現するためには】

- ・ 生垣の推進
- ・ 個人の植栽は管理させる
- ・ 桜の整備・管理
- ・ 生物多様性、色々いるから生きていける
- ・ 駐車場などのコンクリート化の制限
- ・ 在来植物を大切に
- ・ はなみずきは別の植栽に変える
- ・ 空き家を買取り公園に
- ・ 雑木林を若返らせる
- ・ 薄暗い公園の植栽を明るく剪定
- ・ 暗い林にはベンチを明るくつくる
- ・ 武蔵野の緑の歴史を大切に
- ・ 森林や公園のインストラクター・専門家
- ・ 武蔵境通りの街路樹で日陰をつくる
- ・ 玉川上水を眺めながら歩ける歩道に
- ・ 玉川上水に植物の管理
- ・ 井の頭公園の整備（ジブリと共同）
- ・ 中央公園の整備（バーベキュー、競技場の区分）
- ・ 散歩道の整備（歩道とサイクルロード）
- ・ お祭りでわいわいイベント
- ・ ボランティアで多様な人とのつながり
- ・ 緑の保全のためのボランティア活動
- ・ 武蔵野市に住みたいアンケート 90%に

グループ①（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・歩道で小さな段差が気になる（ベビーカー、ランナー）
- ・電柱が多い
- ・狭い交差点の見直し
- ・見えづらい交差点にミラーが少ない
- ・ゆったりとしたスペース・道路がほしい
- ・歩道の有効スペースが狭い
- ・バリアフリーが当たり前の歩道設計が望ましい（桜の根でデコボコな道）
- ・街路樹の手入れが悪く、歩道が狭い
- ・歩道の水たまり
- ・細い道の情報が足りない
- ・歩行者が危ない思いをする自転車レーン
- ・自転車が走りづらい路側帯
- ・車道が狭く自転車では怖い
- ・駐輪場がまだまだ少ない
- ・駐輪場がどこにあるかわかりにくい
- ・ムーバスの路線の見直しが必要（病院などを重視）
- ・ムーバスが一部しか通っていない
- ・ムーバスが終わる時間が早い
- ・市役所がバス頼み、乗り換え必要
- ・バスの乗り換え難しい
- ・自転車に乗れなくなったら・・・
- ・中央線高架化、踏切がなく快適
- ・全面禁煙区域でも吸い殻がある

【ありたい姿を実現するためには】

- ・段差危険箇所マップをつくる
- ・インフラ整備でアスファルトが綺麗になると良い
- ・道路を美しく
- ・電柱地中化
- ・区画整備
- ・自然を大切にしながらバリアフリー
- ・根っこ対策で景観との両立
- ・路面整備と罰則規定
- ・水はけの良い道づくり
- ・自転車の乗り方を小学校などで教育
- ・アクセスしやすい各地に駐輪場を増やす
- ・駐輪場の場所をわかりやすく
- ・駐輪場勤務の人が他の駐輪場も把握
- ・交通網の見直し
- ・ムーバス運用弾力化
- ・公共施設や病院のマップをつくりルートを決める、無料化も検討
- ・どの駅からでもムーバスで役所へ
- ・行きたいところに行ける公共交通手段
- ・三鷹駅北口ロータリーの再開発
- ・桜並木の道が増えると良い
- ・駅のイルミネーションを縮小し樹木を増やす

K

・身近に参加できる行政・上手な情報発信

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・行政に参加する・できるという発想を持ちにくい
- ・行政の課題として何が議論されているか見えない
- ・行政と市民が双方向にやりとりしあう機会・仕組みがない
- ・発信方法が紙媒体に偏りがち
- ・コミュニティ・区毎の話し合える場の設定

【ありたい姿を実現するためには】

- ・市の施策に参加しやすくする
- ・SNSの活用、目安箱の設置
- ・SNS 武蔵野アプリをつくる
- ・個人があらかじめ選んだ関心あるテーマの情報がWEB・SNSで配信される
- ・市のホームページを使いやすく
- ・市長への手紙の活用
- ・選挙での投票
- ・議員の活用
- ・市民のスキルの活用
- ・パブリックコメントの募集方法の改善
- ・コミュニティ区画を話し合える場の設定より多くの市民が情報共有するための他言語による発信
- ・駅スペースの活用
- ・学校教育における地域教育

グループ①（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・市報が分厚い
- ・市の情報が届かない、町内会は？
- ・情報がなくてよくわからない
- ・市議会での決定事項よくわからない
- ・市民交流という意味でのHPがない
行政やコミセンのイベントが平日昼間で参加できない
- ・市政要覧ほしい（買う）
- ・杉並から転居して最初は素晴らしいと思っていたが最近はそのように思えない

【ありたい姿を実現するためには】

- ・市報はこれから全部読もうかな
- ・市報を活用してほしい
- ・ネットで市民が情報発信し市が対応する仕組み
- ・相互に発信するメルマガ
- ・市民メディア・電子看板
- ・市政情報が自分に自動的に届く仕組み
- ・自分用市報
- ・転入時にメルマガのおすすめ
- ・地域特性やテーマに合わせた発信
- ・音声での情報発信
- ・外国語情報発信・外国人の市政参加
- ・市民が気軽に参加する気分になれるような情報発信をしてほしい
- ・老若男女の決まりなく参加したい
- ・市民が自由に参加できるボランティア
- ・テーマで市民参加できる行政
- ・今回のような形の機会をもっと増やす
- ・専門職キャリアを活かせるようなボランティア（コストカットにもつながる？）
シルバー人材でくれないところにも人材がいるかも
- ・もっとIT化してほしい、窓口業務は特に
- ・自宅で申請し証明書を受領

L

・高齢者・障がい者への優しい福祉・医療

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・気づけない、学ぶ場がない、理解していない、情報がない、わからない
- ・お金で解決しないことはなに？
- ・困っていることは？手を貸す方法は？
- ・怖い？怖くない？違いはなに？
- ・医療機関へのアクセスがよくない
- ・南北方向の交通が不便
- ・歩道が狭く自転車が多くて不安
- ・桜並木で歩道が根でボコボコ
- ・自転車で乗れなくなったら交通は不便
- ・障がい者の方がつくっているパン屋や雑貨屋がある

【ありたい姿を実現するためには】

- ・高齢者・障がい者に対する接し方の教え
- ・情報交換
- ・小さい頃から学びの場を
- ・他人事と思わない
- ・身近に交流する
- ・自分もなるかもと常に考える
- ・街全体が人助けの雰囲気になるように
- ・地域のつながり
- ・武蔵野タワーズへの医療機関への集約
- ・医療機関を念頭においたムーバス経路
- ・ムーブスの運行経路と時間の見直し
- ・歩道に小休止できるベンチを設置
- ・バリアフリー歩道の積極的な導入
- ・ボコボコの道はすぐに直す
- ・障がい者の働く場所の提供
- ・障がい者雇用についての法的な整備
- ・小学校・中学校は健常者と障がい者の混合に
- ・子どもから大人まで障がい者と常に関わる機会をつくる
- ・独居老人への声かけ
- ・高齢者が集まりやすい施設
- ・高齢者の体力維持サポート

グループ②（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・ 休憩所、ベンチが少ない
- ・ 点字ブロックの色がグレーだと見づらい
歩道が狭い
- ・ シルバーに抵抗がある？
- ・ 声かけを自発的にすることが少ない
- ・ 高齢者の孤立
- ・ 高齢者の人材活用
- ・ 気軽にできるボランティア活動
- ・ 若い人と高齢者との交流
- ・ 大学生と高齢者の交流
- ・ 年齢の縦関係づくり
- ・ 高齢者住宅の充実

【ありたい姿を実現するためには】

- ・ 少予算でベンチなどを設置
- ・ マイネーム・寄付者メッセージ入りベンチ
- ・ 歩行者道路の安全点検
- ・ 電柱の地中化
- ・ 危ないエリアを特定して改善
- ・ 公共施設の完全なバリアフリー化
- ・ シルバー人材センターの名称変更
- ・ 働ける高齢者への仕事の斡旋
- ・ 声かけの大切さ
- ・ 近所の連携
- ・ 自分から自発的に行動する
- ・ 地域コミュニケーションの活発化
- ・ 高齢者の声を聞く人・場所
- ・ 一人暮らし高齢者へのローラー訪問
- ・ 小中学校との連携
- ・ 学校行事に高齢者を招待する
- ・ 手伝いを必要な人とする人のコーディネーター
- ・ いろんな人が出入りする「茶屋」に使えるスペース
- ・ 行っている支援に関する情報発信

グループ③（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・ 話せる人は場所が無い、孤立
- ・ 隣は何をする人ぞ
- ・ ボランティアを誰に頼めば良いかわからない
- ・ ムーバスのルートが限られている
- ・ 高齢者スポーツの場が少ない
- ・ 障害者スポーツが普及していない
- ・ 徒歩圏内に病院がない
- ・ 現在の市の福祉の内容がわからない
- ・ 大病院が満員
- ・ 予算配分 子育てか福祉か

【ありたい姿を実現するためには】

- ・ 隣人とのネットワーク強化
 - ・ 気軽に集まれる・相談できる場をつくる
 - ・ やりがいのあるボランティア
 - ・ ボランティアの種類を増やす
 - ・ 自分で難しい時は周りの人や市に相談
 - ・ 銀行、買い物、掃除等へのつきそい
 - ・ 警察の見回り
 - ・ ムーバスのルートの拡大
 - ・ レモンキャブの拡充
 - ・ 利用できるスポーツ施設を増やす
 - ・ 高齢者・障害者スポーツの指導者を探す
 - ・ 高齢者・障害者・健常者が一緒にスポーツできる大会を企画する
 - ・ 体を動かせる場所やイベントをまとめたものを配布
 - ・ 調べて自分の受けたい福祉を探したい
 - ・ 何の支援を受けたいか自分で決められる
- “骨折しない”武蔵野宣言

グループ④（参加者が希望したテーマ 2日目後半）

【現状と課題】

- ・歩道の自転車→駐輪場
- ・交通手段再検討
- ・乗り物（交通）多く、運転手親切
- ・安心・安全なバリアフリーの充実を
- ・イスが多くて老人が散歩しやすい
- ・災害時の高齢者・障害者の安全
- ・高齢者認知症の予防、見守り
- ・独り暮らしの高齢者の人と出会う場所
- ・シニアの活用で→生きがいのある生活、シニア同士の助け合い
- ・健康なシニアになるために、若くても参加できる体操
- ・仲間づくり
- ・老人会、運動、旅行、健康づくり
- ・心身共に楽しみが倍増する場を
- ・高齢者が参画できる事業活動など
- ・高齢者に優しい街と感じる
- ・コミセンの集まりが多く、クリスマス会・新年会他、楽しんでいる
- ・運動（グランドゴルフ、マットゴルフ、ワナゲ）、麻雀、グループで楽しめる所ある
- ・高齢者総合市民大学の創設など
- ・生活に必要な品・物・何でも手近にある街
- ・植物が多い街
- ・医療機関の分かりやすい地図など
- ・高齢者がさらに増えたときの福祉サービスの費用の負担
- ・楽しい・元気になる

【ありたい姿を実現するためには】

- ・安心・安全な武蔵野
- ・段差のない道路
- ・緑とベンチがある。会話はずむ
- ・ベンチ→費用→メモリアルチェア
- ・散歩を楽しめる
- ・ハンデのある人が安心安全に暮らせる地域に
- ・認知症になっても行きたい所に行かれる
- ・隣同士声掛け運動つくる
- ・近くで集まってご飯を食べられる場所がある
- ・現状から後退することのない地域社会を
- ・健康体操の充実。指導者不足は参加した経験者で補う
- ・見守る人も息をつける心豊かな地域に
- ・「老人会」の名称を皆で再考してみる
- ・子どもたちと出会う場所がある
- ・在宅サービスが充実して、家に長く暮らせる
- ・市民・大学・企業共有の市民大学の創設
- ・認知症予防→シニア・企業リタイア→お互いに講師になって生涯学習
- ・市民として地球人としていたわりを大切に
- ・病人が少ない。健康な武蔵野
- ・収入によって受けられるサービスに差があまりないように
- ・いつも皆が集まっている。笑顔忘れずにいたから

グループ①（あみだくじによって選ばれたテーマ 2日目前半）

【現状と課題】

- ・ハコモノがどこに何があるかわからない
- ・空いているのかどうかわからない
- ・人を集めたいのかどうかわからない
- ・建物の老朽化
- ・市民会館は市民に活発に利用されているが設備が古くなっている
- ・小中学校の校舎が古くて使いにくいところがある
- ・小学校によってはトイレに問題がある
- ・学校施設の利用と安全
- ・コミセンは地域コミュニティを広く対象にしていない気がする
- ・コミセンの自主運営は良いが市としても盛り上げてほしい
- ・コミセンの予約がとりにくい
- ・コミセンにエレベーターが設置されていないところがあり不便
- ・コミセンの有効活用
- ・武蔵野プレイス、新しくて利用者も多いが個人にサービスを提供する機能が目立ち、人のつながりはいまいち

【ありたい姿を実現するためには】

- ・よくわかるハコモノ利用マップ
- ・ネーミングをわかりやすく
- ・利用状況の見える化
- ・市 HP の改良、HP での予約申請
- ・施設ファーストからニーズファーストへ
- ・ハコモノ全体を大きな視点から計画的なリニューアル
- ・市民協力で老朽化施設の改築
- ・市民会館にニックネームを
- ・ちょっと一工夫で複合化
- ・小学校と保育園のハイブリッド
- ・スポーツイベント
- ・ホール・食堂を市民ライブに貸し出し
- ・コミセンが地域のコミュニティづくりに資するモデルの提示
- ・行きやすいコミセンマップ
- ・エレベーターがない施設に UDS やキャタピラなど便利グッズを
- ・コミセンをライブ会場に

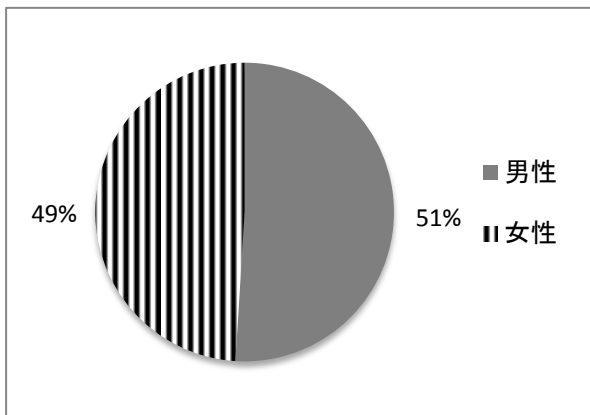
6. 参加者アンケート結果

アンケート回答者

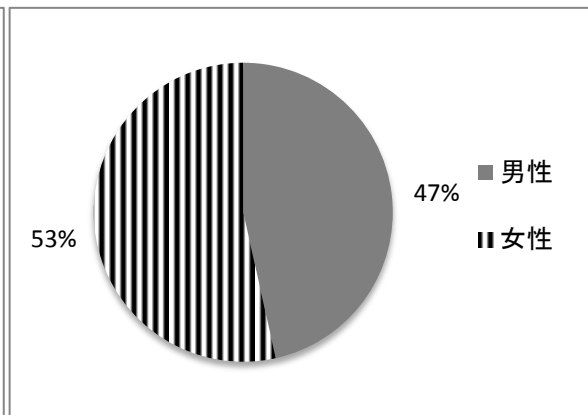
1日目 52名 2日目 46名

男女比

1日目

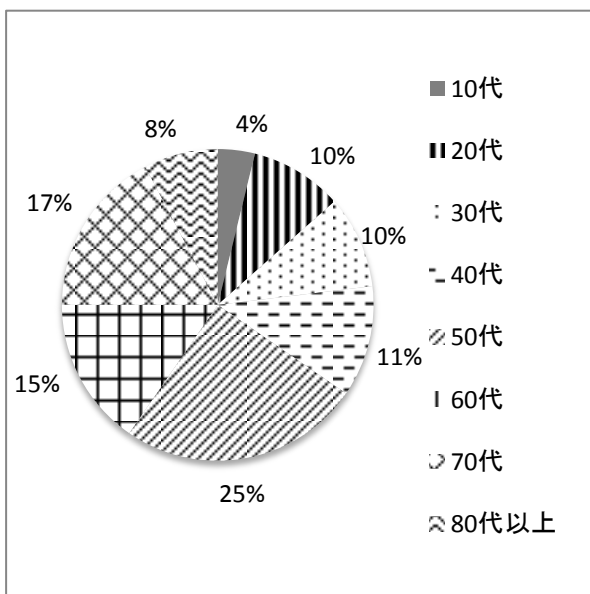


2日目

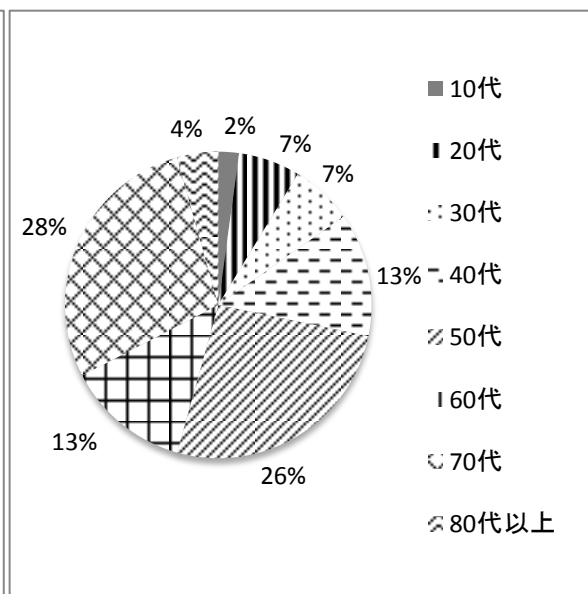


年齢

1日目

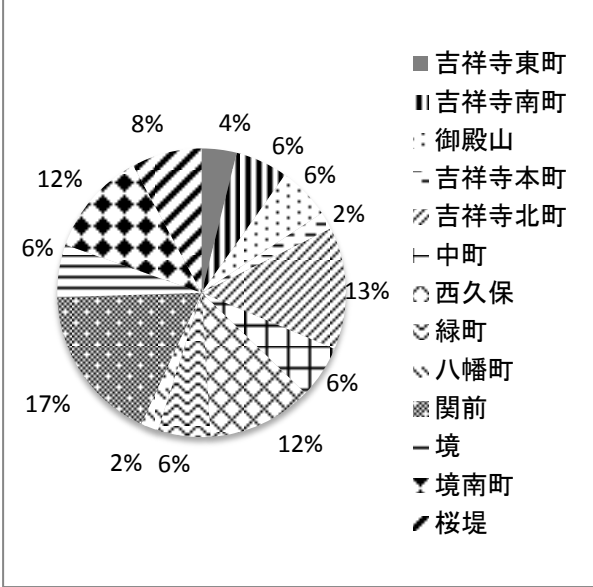


2日目

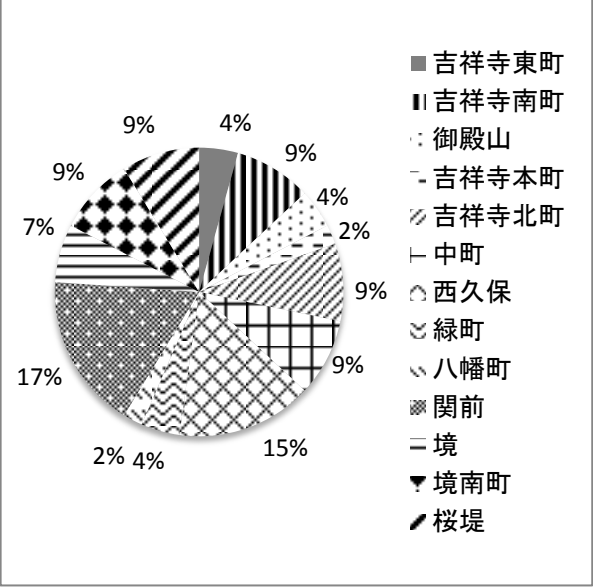


住所地

1日目

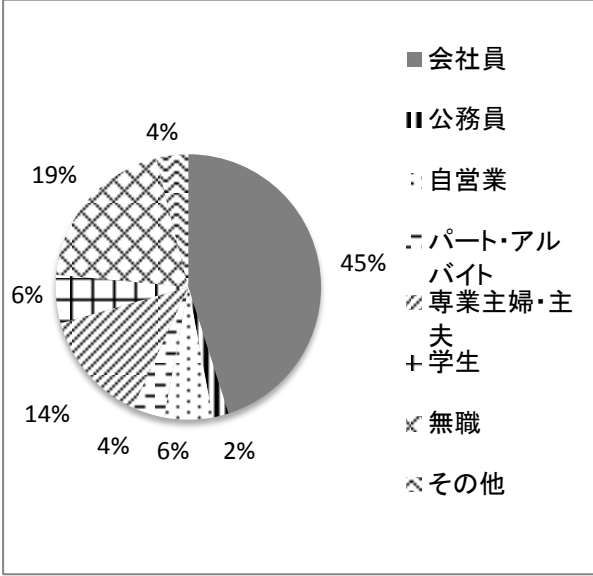


2日目

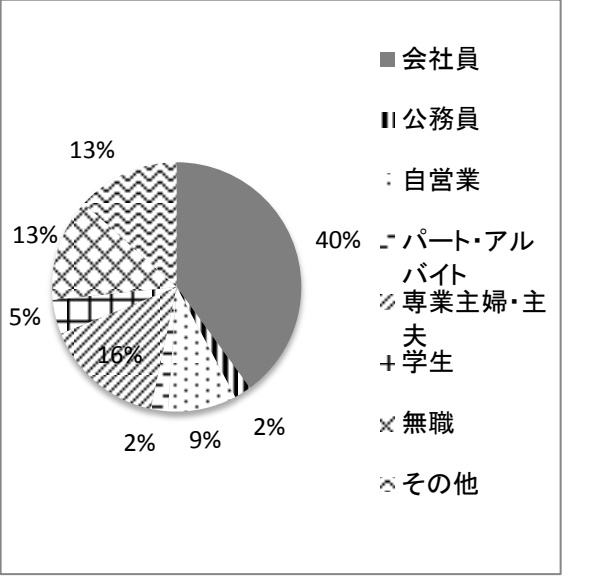


職業

1日目

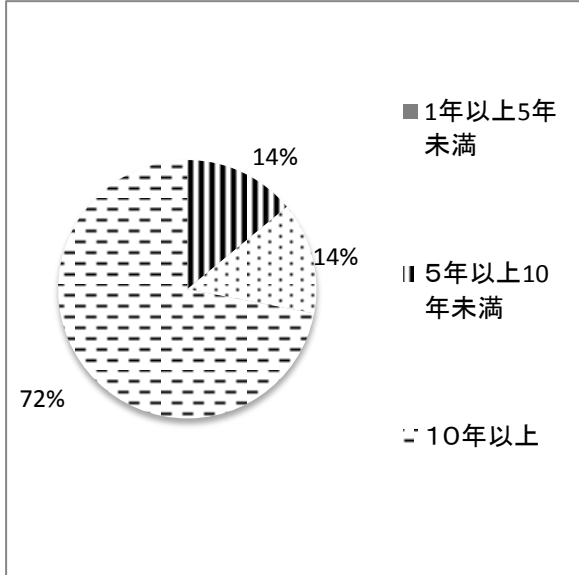


2日目

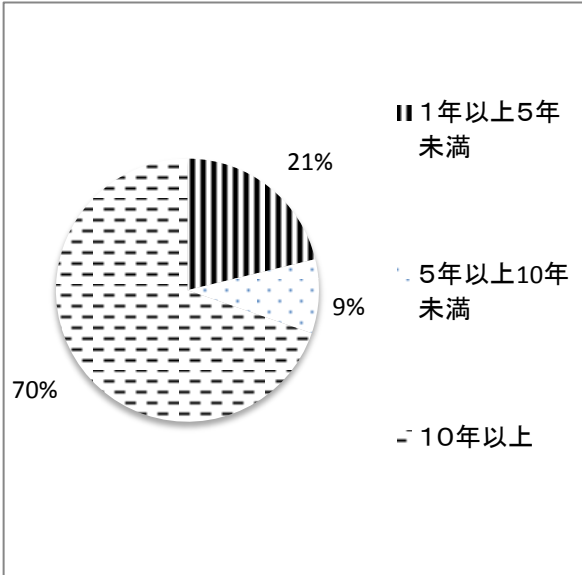


武蔵野市での居住年数

1日目

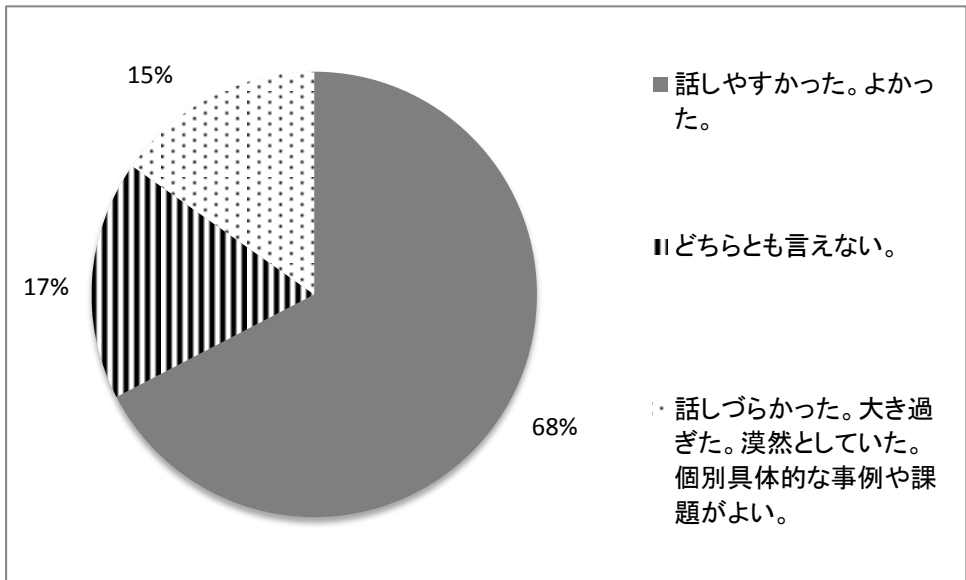


2日目



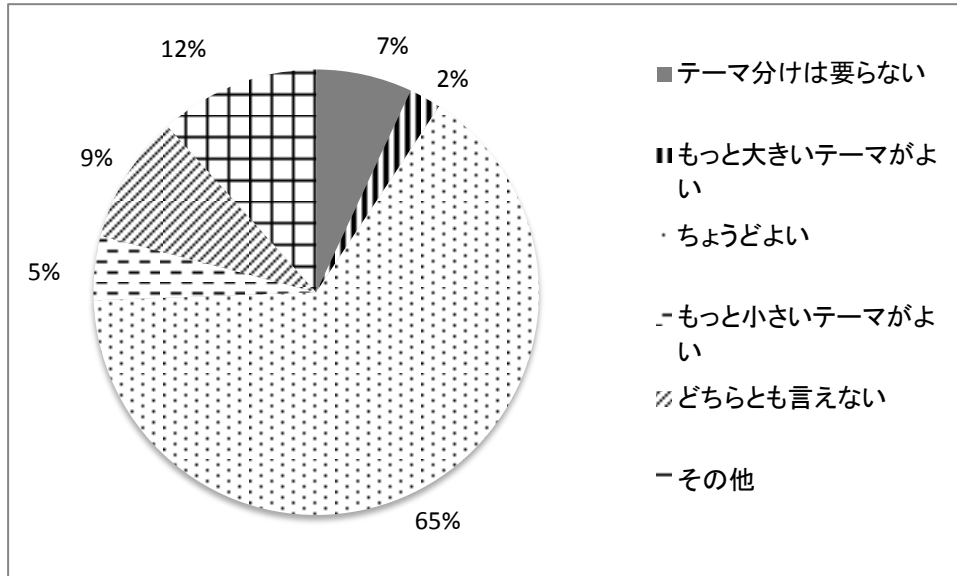
「10年後のありたい姿」というテーマはどうでしたか？

(1日目のみの設問)



13のテーマ分けはどうでしたか？

(2日目のみの設問)

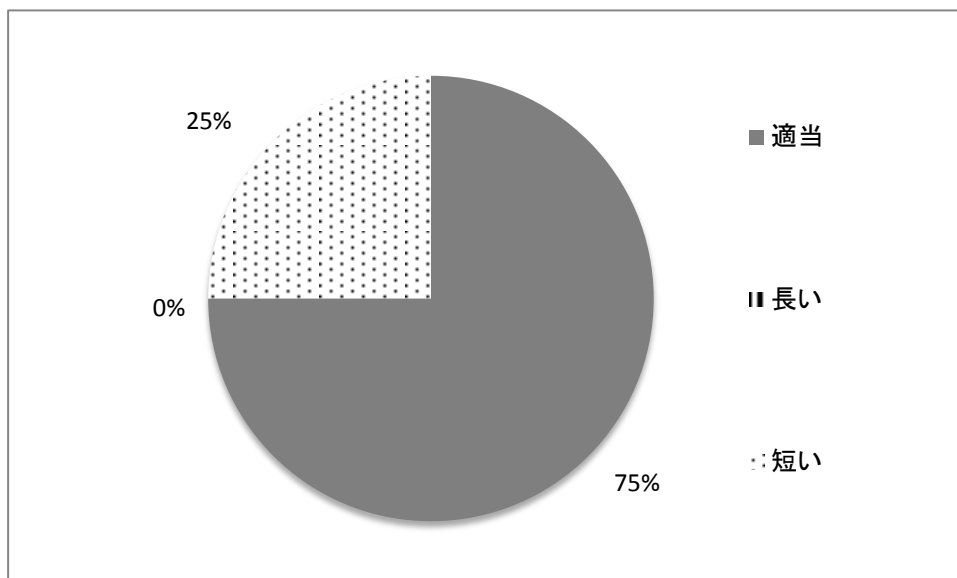


<その他意見>

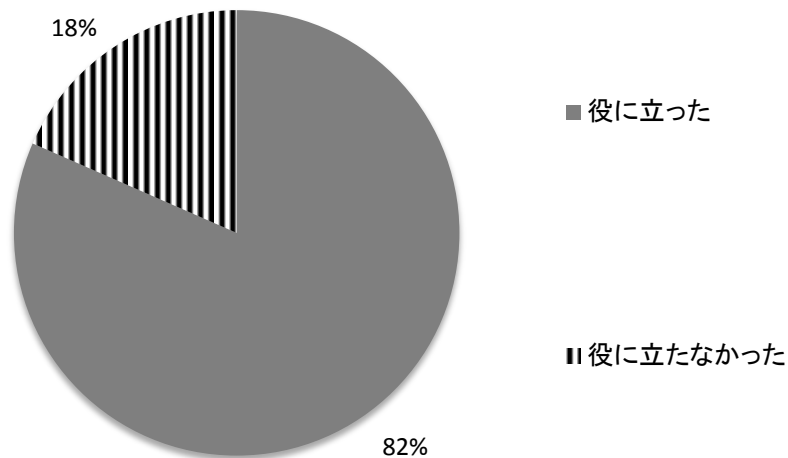
- ・あみだくじは不要。偏ってしまい変更するくらいならくじでよい。
- ・ばくぜんとしたテーマは省いてもよいかも。
- ・よかった。
- ・多すぎる
- ・グループ数と一致させるべき

1テーマでの話し合いの時間はどうでしたか？

(2日目のみの設問)



テーブルに配付した長期計画等の資料は役に立ちましたか？

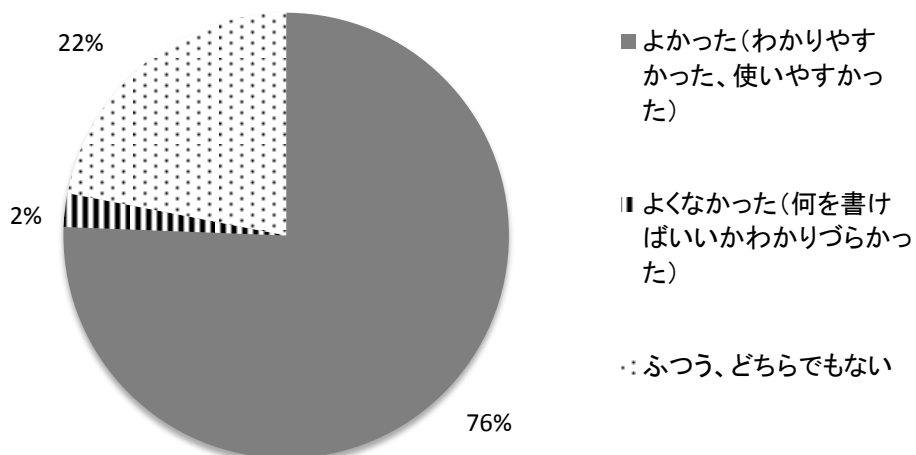


<どんな資料があればよかったですか？・その他意見>

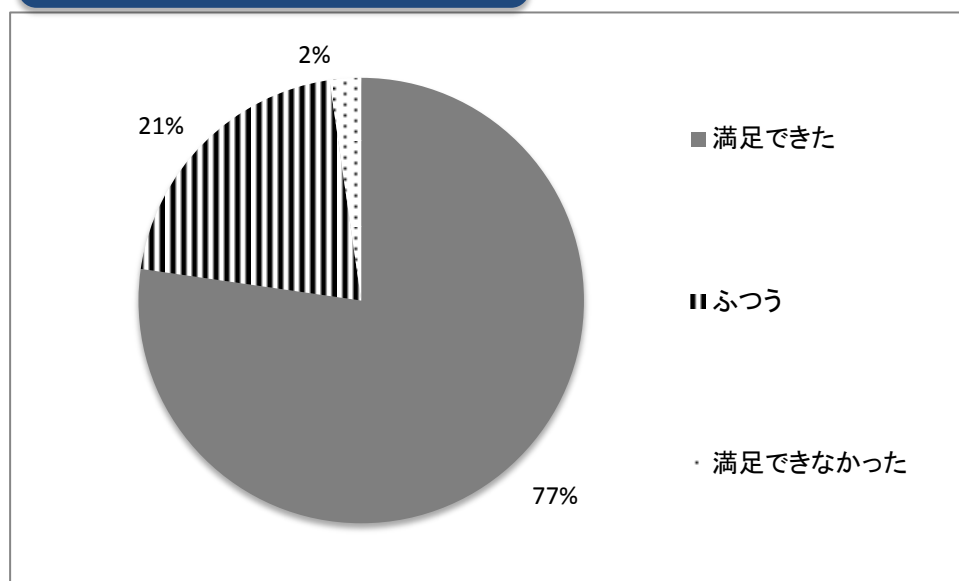
- ・読む時間もなく、発表用シートに取り組む際じゃまになった。
- ・見るところまでいかなかった。
- ・見る機会がなかった。
- ・読む時間がなかった。
- ・見なかった。
- ・見る時間がなかった。
- ・資料を見る時間がない。
- ・読む時間がなかった。
- ・スペースが狭く手に取りづらかった。

発表用のシートはどうでしたか？

(2日目のみの設問)



職員の対応はどうでしたか？



<その他>

- ・適度にフォローしてくれた。
- ・ていねいに答えていただきました。
- ・作業が前へ進む方向への確なアドバイスを頂けた。
- ・気にならずに作業に集中させてもらえた。

市民ファシリテーターへの感想

<よかった点・肯定的なご意見>

- ・話をよくまとめてもらった。
- ・うまく調整してもらい、議論が盛り上がりました。
- ・各テーブルのファシリテーターの方々、よくわかりやすくよかった。ありがとうございました。
- ・まとめ役がいてよかったと思います。
- ・優しく話しやすかったです。
- ・ワークショップをスムーズに進め、要領よくまとめていただいて、大変ありがたかった。
- ・ありがとうございました。
- ・グループワークを盛り上げてもらった。
- ・まとめる力もあり素晴らしいの方々でした。そのような方を養成できる市にも驚きました。
- ・皆の意見をよくまとめてくれている。
- ・良い人だった。頭のいい人だった。
- ・進行がスムーズでよかった。
- ・熱心さを感じ、応援します。
- ・話し合いが円滑に進んだ
- ・お世話になりました。
- ・進行役がいると進め易いと思います（必要）
- ・スムーズに話が進みました。
- ・良かったです。
- ・よく調整してくれていた。
- ・テーブルごとについて頂き、親切に対応して頂けました。良かったですと思います。
- ・色々な方が骨を折られていて尊敬します。

＜今後に向けた改善点など＞

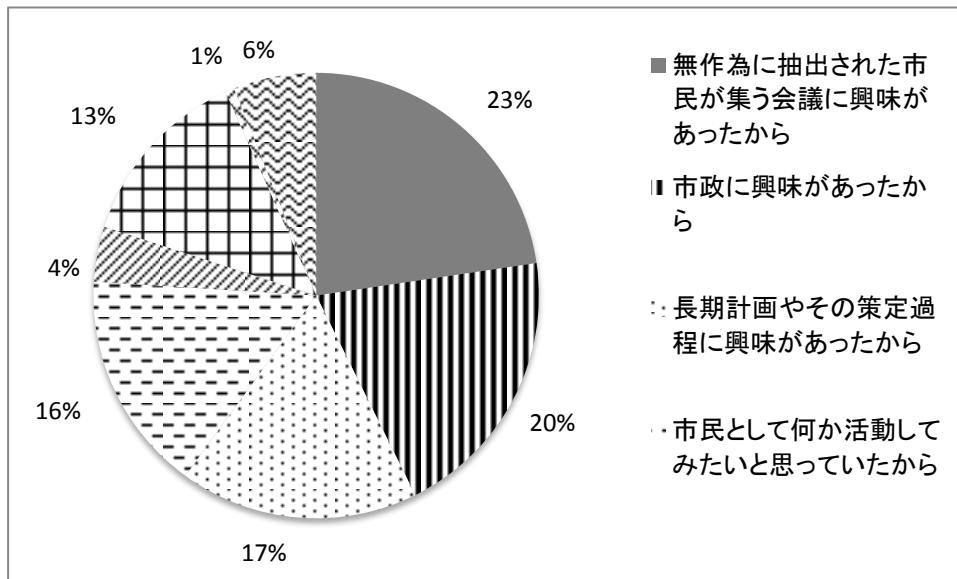
- ・声が小さい方がいたのが困った。積極的な感じも少なかった。
- ・お疲れ様でした。タイムキーパーとして全体管理をしていただけるとプレゼンがもっと聞きやすくなると思います。
- ・タイムキーパーをもっと意識した方が良いが、きっちりしすぎても良くないので。色々な人の意見を引き出せていたので良かったと思います。
- ・要点をまとめて欲しい。
- ・個人差ありましたが、もう少しリードしていただけると…と思うことがありました。
- ・ファシリテーターがあまり意見を述べない方がいいと思った。
- ・まとめたり、進行を的確に行う面では少し消極的な方もいました。
- ・まとめ方のスキルの違いが人によって大きいと思いました。
- ・必要ですが、もう少し進み方の練習（オリエンテーション）があると良いと思う。

次回無作為選出市民によるワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか？

- ・小中学校の在り方（新設する校舎、運動場、地域との行事）
- ・老人の福祉
- ・街作り、子育て
- ・身近な生活に関したものがほしい。
- ・住み良い街づくり
- ・老人の医療費
- ・10年後にできる事を具体的に話し合うテーマにして欲しい。
- ・子育て
- ・スポーツ、地域総合型スポーツクラブ
- ・都市開発について
- ・財政問題
- ・本日のいろいろなテーマでもよいと思います。
- ・海外姉妹都市との積極的交流と拡大（他の都市）
- ・一般市民が自由に参加できるボランティア活動について
- ・ムーバスのルート
- ・市のホームページ・情報発信
- ・吉祥寺南口の交通歩道
- ・情報に特化したテーマがあればいいと思う。（全ては情報が源になると考えるので）
- ・武蔵野市の未来について
- ・①高齢化対策②子育て③公園・緑化
- ・今回の最後のお題（交通網・景観）をもう少し深く掘り下げてみたいです。
- ・LGBT
- ・交通対策等個別のテーマを掘り下げるもので、直近の市政に反映しうるもの。

ワークショップに参加した理由

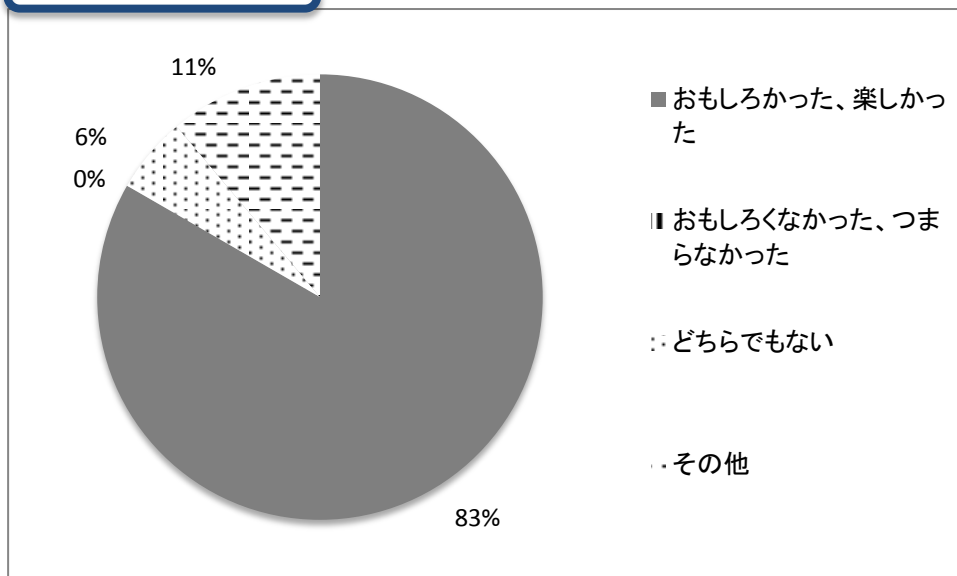
(複数選択可)



<その他>

- ・日々考えていることを聴いて頂ける場と思って…。
- ・家内が以前ワークショップを経験し、強くすすめられた。

参加した感想

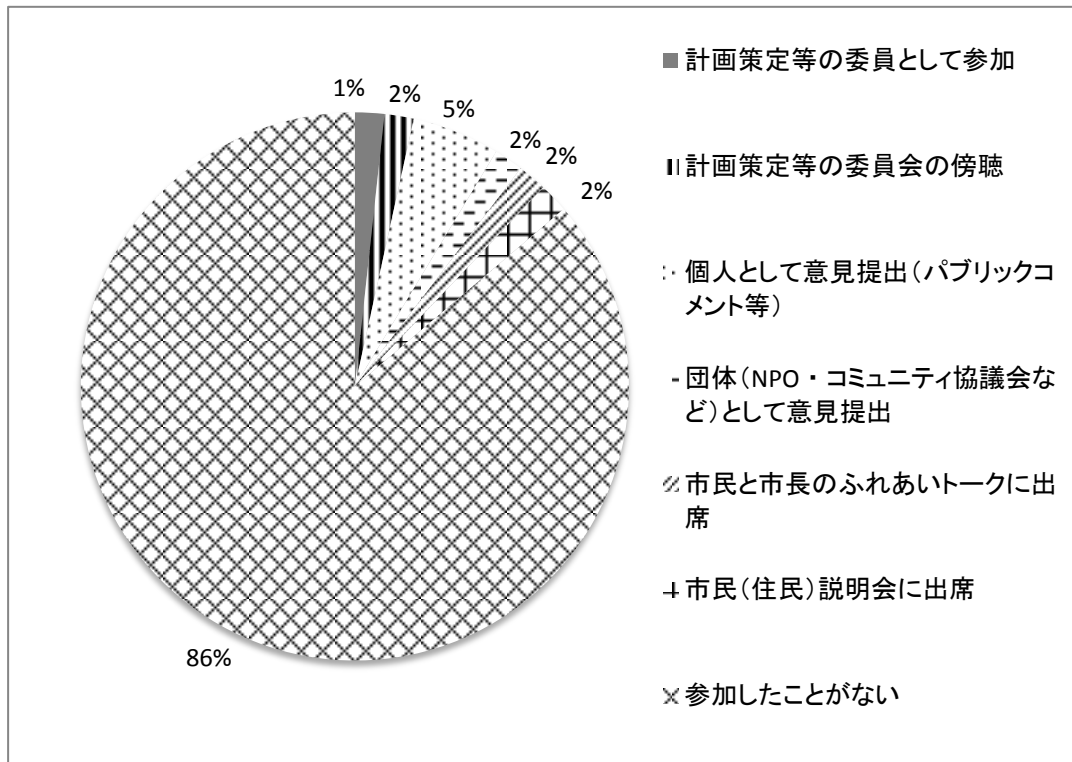


<その他>

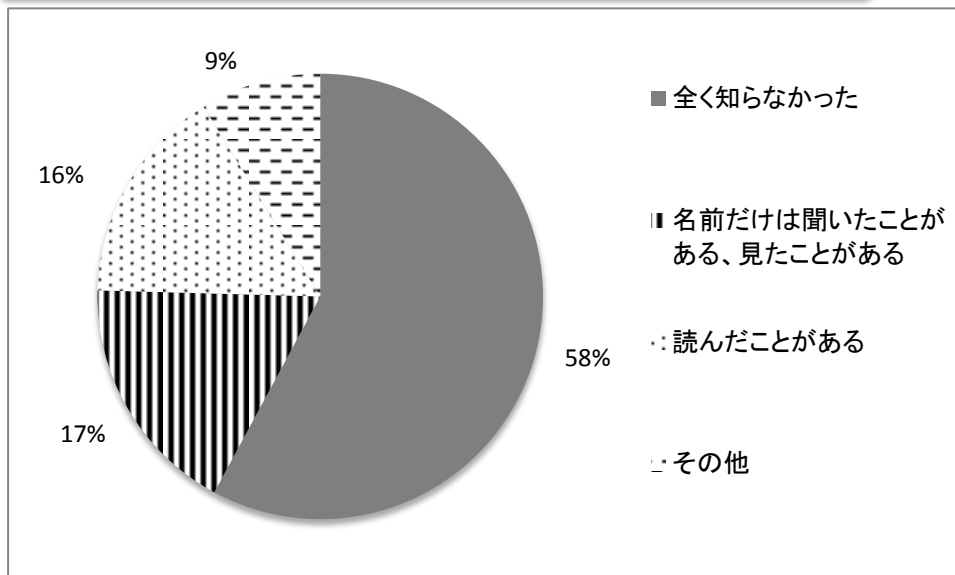
- ・世間が広がる良い機会でした。
- ・あまり建設的な意見交換ができず、残念でした。

これまで市の計画策定や施策決定に参加したことはありますか？

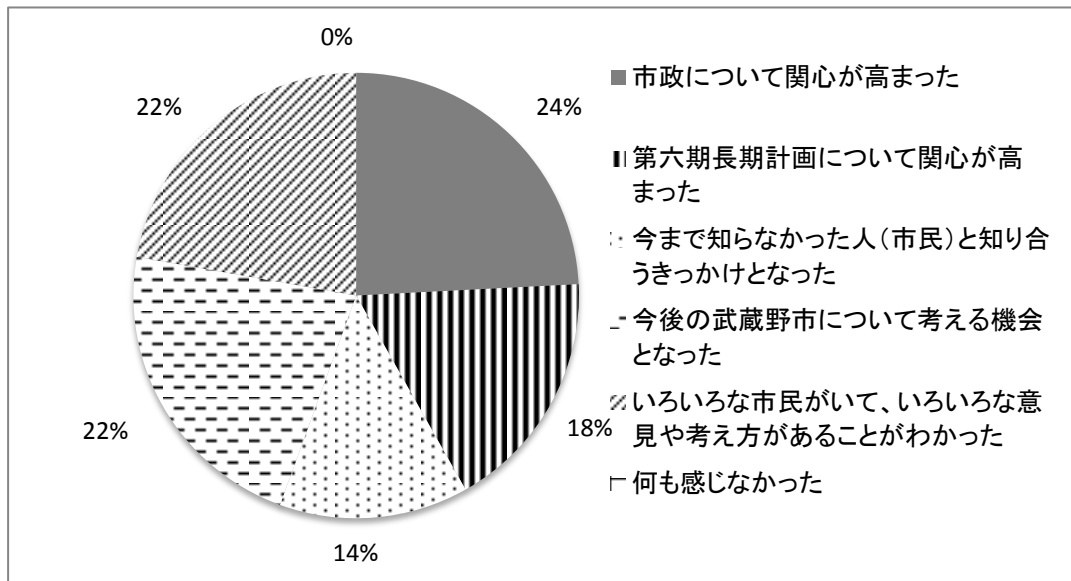
(複数選択可)



武蔵野市の長期計画についてどの程度ご存知でしたか？

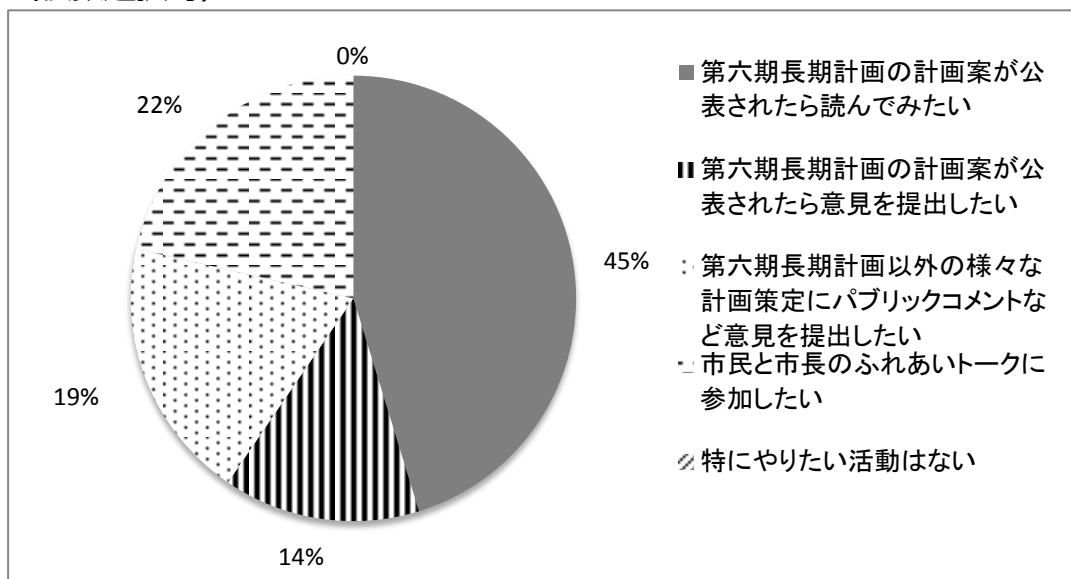


ワークショップに参加し、どのように感じましたか？



今後やってみたいと思う活動はありますか？

(複数選択可)



<その他>

- ・無料のコンサートなど市報など見て出かけたいところには出かける
- ・このワークショップの意見をどう計画に反映したか、参加者にフィードバックしてほしい。

ワークショップの感想（自由記載）

<よかった点・肯定的なご意見>

- ・ 市政に参加できるという非常に貴重な体験ができた。今後もこのような活動に参加し、日本の未来を担う一人の若者として全体を展望できるような視座を身につけ、武蔵野市がもっと良いまちになるようその方法を模索していきたい。
- ・ 参加された皆様が、とても熱心に、今後の市政について考えていらっしゃることに感心いたしました。このような機会、また、意見が市政に少しでも活かせましたら幸甚です。ありがとうございました。
- ・ 初めてでここに来る前は心配でしたが、だんだんと楽しく、思っている意見、活動など聞くことができ、大変良かったです。ありがとうございました。
- ・ 電線の地中化や緑など、まちの景観についての意見が多かったので、ぜひ実現してほしいと思いました。
- ・ コンセンサスでのワークショップは市民の意見を率直に聞けるので今後とも続けていってください。ありがとうございました。
- ・ 様々な意見が出て非常に参考となった。
- ・ こういったワークショップの機会を増やして欲しい（特に若い人に参加してほしい）。
- ・ 市民の声を大切にす市なんだなあとびっくりしました。働いてくださった市の方、スタッフの皆様へ感謝です。
- ・ 様々な世代の方と話ができて、大変有意義な時間でした。
- ・ いろいろな世代、いろいろな考えを持った市民の方々と意見交換でき、大変有意義な会合でした。機会があれば、ぜひまた参加したいです。
- ・ とてもざっくばらんでカジュアルだったので取り組みやすかった。このようなワークショップに関心がある方が多く、おどろいた。ありがとうございました。
- ・ 皆さんの意見を聞くことができてよかった。
- ・ 初めてのお誘いに参加して楽しかったです。まだ知らない事も教えていただいて。次回も楽しみに参加します。
- ・ 様々な世代の方の意見を聞いて、とても勉強になりました。今までより市政について考えるきっかけになりました。
- ・ 同意する事、思ってもみなかった事、色々な話が聞けて良かった。武蔵野市と言えども住む場所によって思いも違う。意見が自由に言えた事良かったです。
- ・ 初めての経験でした。
- ・ 長く住んでいたけれど、知らないことが多くて勉強になった。
- ・ 10代の方も参加されていてえらいなと思いました。
- ・ 武蔵野市は民意が高い人が多く、自助・公助・共助の仕組づくりがしやすいのではと思いました。
- ・ このような場を与えていただきありがとうございました。
- ・ 見事なファシリテーターの運営でした。敬意を表します。
- ・ 自分の視点とは違うものを聞くことで刺激を受けました。たとえば境南町にいと、コミセンの回転率（使用率）はものすごいですが、他ではそうではないのか…とか。こういった場に来ることの意義を感じます。
- ・ 年代の差を感じました。皆さん自由に発表されているのにびっくりしました。
- ・ 武蔵野市でどんな取り組みがされているか知れ有意義でした。
- ・ 進行がスムーズでやりやすかった。
- ・ 人と人とのつながりに着目したコメントが多かったのが印象的でした。
- ・ 自分で選んだテーマでの議論はとても盛り上がり、良かったと思います。
- ・ 話が色々出て感心しました。今後もテーマがよかった。ありがとうございました。
- ・ 2回目はかなりおもしろかったです。1、2回を通して同年代ではなく上下世代のコミュニケーションが大事なことを実感しました。若い方々を恐れずにやらないといけないと実感しました。しゃべると皆さんイキイキとします。テーマ別に市民の話し合い、話したい人を集める会を開いてください。

- ・とても有意義な2日間でした。ありがとうございました。
- ・興味のあったことにもなかったことにも、いろいろな人と話せてとても楽しかったです。
- ・「隣人の声を聞きたい」という声が意外に多く出たことが驚きでした。
- ・楽しい会で進み、人様の生活ものぞけ興味多々面白かった。最後のグループ、コミセンでお世話になっている方にもお会いできました。わがグループは実生活そのもの話で興味あり我が身の参考に…。ありがとうございました。
- ・世代の違う方と話す機会があまりなかったので、これからも積極的に参加をしていきたいと思いました。
- ・出席してよかった。いろいろな人の意見を聞いた。いろいろ困難な問題もあるだろうけれど、武蔵野市の未来は明るくあってほしいと強く思った。
- ・同じテーマでも「班ごとで特色が出るのだなあ」と感心しました。
- ・市民の皆様の意識が高くて驚きました。
- ・ありがとうございました。
- ・市民の方々との交流を通して自分の行政に対する視野を広げることができた。
- ・武蔵野市の公園・緑化に興味があります。ワークショップでこのようなテーマの際は参加したいと思いますので、ご案内をいただければと思います。また無作為と併用して希望者も一定数参加してもよいかと思います。
- ・ずいぶん皆様が市に深い思いを持っていると思いました。
- ・今後、ここからのアウトプットがどう活かされていくのか、非常に興味があります。メールでの配信、楽しみにしています。また、市議会で取り上げられる際には、是非傍聴したいです。
- ・LGBTフレンドリーな市にしていきたいです。
- ・意見はすぐに反映される訳ではないが、市民が市政に少しでも触れられることは武蔵野市に対して意識を向ける良い機会だと思います。自分とは違った見方を聞けるのがとても良かったと思います。
- ・全く知らない人と話が出来たこと、色々な話を聞いたことは良い経験になりました。

＜今後に向けた改善点などのご意見＞

- ・高齢者が参加、理解しやすいよう横文字は極力減らした方がいいと思います。(ワークショップ・ポストイットなど)。障害者が参加していないので、参加しやすい運営方法を考えてほしいです。机を広くするか、グループの人数を減らした方が良いと感じました。一人一人のスペースが狭いです。
- ・ポストイット記入時間にどこからかファシリテーターの声がずっと聴こえていて気になった。記入時間は静かにしていただきたいです。
- ・細かく時間を区切り過ぎだと感じた。グループの人数が4人くらいの方が意見を交換しやすいと思う。
- ・今回のワークを今後の市政に役立てるステップがわかりづらいと思います。→「意見は聞いたけど…」にならないようにしてほしいです。
- ・他のグループの話がもっときける共有できる機会があってもいいと思いました。
- ・細かく述べる事が出来なかったことが残念でした。このようなテーマで議論することは大切ですが、どう全体が出来上がるのか興味があります。
- ・今日出された意見が長期計画のどこに反映されたのか、具体的に見える形で市民に公表してほしいです。
- ・ディスカッションが終始不満のはけ口のようになってしまう、どんどん本筋からずれていったのが残念でした。前向きな議論や住民同士の認識のすりあわせ(相互理解)が今回の目的かと思いますが、少なくとも私の班ではそれが非常に難しかったです。無作為抽出でありファシリテーションも困難とは思いますが、世代や悩みの異なる人同士で目線をあわせていけるよう運営面での工夫をしていただけたら幸いです。特に若年者の意見は軽んじられているようにも感じられ、そこも残念でした。こうした場があること自体は良いことだと思いますので、ぜひ継続していただけたらと思います。運営お疲れ様です、ありがとうございました。
- ・「会場案内図」の2日目の案内が不親切。交通手段やバス等の所要時間について何も書かれていなかった。

- ・希望が現実化すると良いと思う。
- ・健康・福祉、子ども教育、文化市民生活、緑・環境、都市基盤らのタイトルと並んで「スポーツ」があるべきです。地域スポーツクラブができれば、市民の健康増進、医療費の削減につながります。学童・子供を預かる施設の不足を補うことにも影響を及ぼせるかもしれません。私が16年間住んだドイツでは1960年代にゴールドンプランが実施され、ドイツ全土にサッカー場が何面、体育館がいくつ、プールがいくつ、公園がいくつということで施設が増やされました。その施設を利用して各地に地域（総合型）スポーツクラブも増えました。10年後、20年後の武蔵野市を考えたとき「タイトル」として「スポーツ」は必須と思います。
- ・いろいろな考え方又は考えがあることがわかり、他人の話は参考になります。なるほど、なるほどと思ったり、ただ海外でもキャリアがあってその話をされるのがうっとおしい。今は武蔵野市のことを考えてほしいと言っていた気がします。
- ・もっと子育てしやすい町づくり。0123と児童館を融合した施設。
- ・発表がやたらと長くなった時に対応してほしかった。あみだくじは本当に不要だと思った。休憩時間は遅らせないで欲しかった。司会者の笑いを誘うような不要な発言が不快だった。
- ・時間が短いような気がした。
- ・学生と一緒に実施できないでしょうか？多世代の意見を交わすといいと思います。
- ・メモを渡されてなにか書けと言われても、不勉強で心の準備ができていないため少々とまどいました。何でもよいから書くという気にはなりませんでした。
- ・せっかくよいテーマがあるので重なるのはもったいない。
- ・グループの数に合わせてテーマ数でよかったのでは？
- ・1日目に比べてとても慌ただしかった。
- ・タイムキープを多少厳しくしてもよいのでは。
- ・1回目のあみだくじもよいと思いますが、「箱の中にくじを入れて」各グループで引くという型で各グループが異なるテーマで出し合うのはどうでしょう。
- ・高齢者・障害者への福祉、医療
- ・話している途中に進行係の方が話をして、話を中断せざるを得ないこと度々。
- ・あみだくじでのテーマ決めは意味不明。
- ・職員の意見も聞いてみたかった。
- ・武蔵野市といっても3駅あり、さまざまです。住む場所によって、色々意見も違います。それぞれわけて話し合う事も必要なのでは…。
- ・各班の発表時間にむら？差があった。タイムキーパーがもう少し発表時間の徹底があっても良かった。

6. 市民ファシリテーターについて

市民ファシリテーターの効果

今回、初めての試みとして市民ファシリテーターを導入しました。

市民ファシリテーターには「全体進行」と「グループ」のファシリテーターを務めていただきました。

全体進行のファシリテーターのスキルが高く、ワークショップ全体を明るく楽しい雰囲気のもとに行うことができました。

グループのファシリテーターもそれぞれ良い雰囲気を作っていたことに加え、ファシリテーター自身も同じ市民であり、職員等の市民以外が担う場合と比べ「共感力」「共鳴力」の違いが感じられ、参加者も意見を言いやすかったと思われます。

それぞれのファシリテーターの思いもグループの意見の中に自然に受け込まれていたと思われること、またさらに全体進行のファシリテーターが全グループを束ねることによる一体感が醸成され、「市（行政）が市民の皆様にご意見をお伺いする」という形ではなく、「自らが住む武蔵野市の将来に関して、市民同士が一つのチームになって、一緒に考えて市に提言する」という形となり、本市の市民参加が一步進んだ姿になることができたのではないかと考えます。

市民ファシリテーターアンケート結果

ファシリテーターとして参加した感想

- ・ 進行役を務めるのも大変でしたが、いい経験になりました。
- ・ 日頃からコミュニティ活動を通じて様々な課題を感じていた。このような場でたくさんの意見を交わすことができたのはありがたかったし、多様な人の中に入って様々な意見を批判にならずに進める手法を実践できたこともよかった。ファシリとしてのスキルをさらに高める必要があるということも感じた。
- ・ 自分より年配の方で武蔵野市に詳しい方や、声にパワーがある方には、あまり仕切れなかったです。
- ・ 幅広い年代の市民の方の意見を聞くことが出来て、非常に有意義でした。無作為抽出にも関わらず、意見交換に意欲的な方が大変多いのにも驚きました。
- ・ 世の中には実に多様な考えの人が居て、それぞれの課題について得手不得手があり、問題の切り方も様々。今回は、それらを引き出し、整理することが役割であったので、とても楽しくできた。
- ・ コミュニティ未来塾の修了生を、このような形で市政に活かすという発想が見事だと思いました。しかし、もし今後も継続するなら、もっと絞り込んだ研修が必要だと感じます（ロールプレイなどもして）。今回の形のままなら、むしろ関連するテーマの担当職員がファシリをした方が、市民の生の声が聴けて有意義だと思います。
- ・ 声の大きい人に引っ張られすぎないようにするのが大変だった。

ワークショップの感想（抜粋）

- ・ 参加した皆さんがより市政に関心をもつことができたように思うし、こういう場を通じて、日ごろできない市民交流もできたと思います。ファシリテーターをやらせていただいた私たちも非常に勉強になりましたし、職員の皆さんともご縁を持つことができました。こういう市民協働の機会を増やすことで、市民と行政の共助がすすみ活性化すると思います
- ・ ファシリテーターは、市政の基本方針である「コミュニティ構想」や「コミュニティ条例」等予備知識を持っておいた方が、スムーズにコーディネートできるように思う。

- ・日頃あまり話し合うことのない年代の方々が平らに意見交換できるこのような試みは、とても素晴らしいと思います。年代が離れていても、互いの意見を尊重し耳を傾ける方が多かったのが印象的でした。また特に若い年代の方や越して来て間もない方が、これを機に市政に関心を持たれた様子だったのが、とても嬉しかったです。自分自身も参加者として参加、ファシリテーターとしても再度参加の機会があれば嬉しく思います。
- ・若い人も参加していてよかった。
- ・さらっと意見される方も、熱く語る人も、年齢・男女・国籍に関係なく同じトーン！？で意見交換出来る場をファシリテーターやみなさんで作れたら、たぶんワークショップに参加する満足度が上がると思えました。頭の中でわかっている、実際に言葉でファシリテートするのは難しかったです。
- ・参加者の方から「こういう時どこに聞けばいいのか分からない」といったお話を聞くことが多かったですが、そのほぼ全てが社会福祉協議会に問い合わせた方がいいような内容でした。社協の方にも見学していただいたり、社協の連絡先が掲載されたパンフレットなどを持ち帰っていただくのがいいかと思えます。私もきちんとその旨を説明できる時間がありますませんでした…。

市民の市政参加を広めるための手法や、より多くの市民が市政に関心を持つための方法について、何かアドバイスやお考え等があればお聞かせください

- ・武蔵野市は市政に関心持っている方は多いと思うので、要望を苦情のような形でなく上手に市政参加を促し原動力に変えられたら良いと思います。
- ・皆さんそれぞれお話が長くなる傾向がありましたが、日頃こういった問題を話す場が無いからだと思えます。また、「自分には専門的な知識が無いから」との思いから、ワークショップなどに参加しづらいのではと感じました。「高度な知識は必要ない」というアナウンスが必要なのと、市政に関するイベントの告知文がもう少し柔らかくなると思えます。
- ・テーマ別に市民と行政ともに学ぶ、勉強会や学習会を開くというのはどうでしょうか？みなさんの様子からはもっとこのテーマで話し合いたいと思う人もたくさんいたと思えます。会議や意見を聞く場を設ける前に段階的に専門家などもよんでやると議論がさらに深まるし、課題解決していくときにも連携したり力を貸してくれる人がいると思えます。武蔵野市は市民力が高いので、会のなかで講師になれる人も見つかると思えます。このような取り組みを市長に知ってもらいたいし、また、市民ファシリテーターの活躍を市報で取り上げて次回の地域コーディネーター講座のPRに使うとかすれば、関心のある有能な人材が発掘できるかもしれないし、ファシリテーターやコーディネーターをもっと市政のあちこちで活用することで、いろんな場面で市民主体の会議の場を創出できるのではないのでしょうか。そのためには、ファシリテーターとしてのスキルを高める講座がステップアップとしてあったほうが良いと思うし、そういう行政と市民の中間支援のグループ（NPOでも）を市の関係機関としておくというのはどうでしょうか。
- ・市の提供する福祉サービスなどの具体的な利用について、各担当がコミセンなどに出向きPR講座を開催して欲しい。高齢者の生活支援、子育て支援、障害者支援、ゴミの出し方・・・等々生活に密着した市のサービスの利用の仕方を質疑応答形式で。コミセンと共催で広報は市報と各コミセンニュースで行う。転入者向けにも必要と感じている。
- ・各コミセンにて推進している「フォーラム」のをもっと活発化させる。つまり「地域の問題を地域で話合う」。ここらが市政参加の入り口になるような気がします。
- ・市報に色々書いてあってもじっくりと読む人が少ないので駅等の市報が置いてある場所に、電車内の中吊りの様にキーワードをピックアップしたものを掲示すれば、市報を手にとってもらえるかも。

7. 参考資料

ワークショップのご案内（表面）



武蔵野市長期計画

みんなで
武蔵野市の未来について
考えよう!

武蔵野市では、平成30年度から第六期長期計画の策定を始めます。策定にあたり、さまざまな市民参加の取組により、みなさまの意見をお聞きしています。「こんなまちになったらいいな」、「10年後にはこんなふうになってほしいな」などの武蔵野市の将来像について、みなさまが率直なご意見を出し合い、話し合ってください『無作為抽出市民ワークショップ』を開催いたします。これまで市政に関わりがなかった方もこの機会に、10年後の未来について考えてみませんか？

Q.無作為抽出市民ってなに？

市政に参加する機会があまりない市民の方からも広く意見をいただくことを目的に、市民の方（住民基本台帳）の中から無作為に選んだ（抽出した）方々の事です。

Q.長期計画ってなに？

市政運営の方向性などを示す市の最も重要な計画です。今回は2020年度からの10年間を期間とする第六期長期計画を策定します。

Q.ワークショップって何するの？

市の将来について、5～6人で1グループとして、皆さんで意見交換、グループの意見をまとめて、発表します。当日は各グループに市民ファシリテーターが同席し、進行などを務めますので、みなさまは話し合いに集中していただけます。

謝礼

8,000円分のクオカード（2日分）をお渡しします。

第1日 6月24日（日）13:00～17:00（予定）
芸能劇場小ホール（中町1-15-10）

第2日 6月30日（土）13:00～17:00（予定）
市役所西棟811会議室（緑町2-2-28）



ワークショップのご案内（裏面）

無作為抽出市民ワークショップの詳細

*原則2日間参加をお願いいたします。そのため、2日間参加できる方を優先いたします。

日程と会場

第1日 6月24日（日）

13:00～17:00（予定）

芸能劇場小ホール（中町1-15-10）

第2日 6月30日（土）

13:00～17:00（予定）

市役所西棟811会議室（緑町2-2-28）

テーマ

武蔵野市の将来像

- | | |
|------------|--|
| ■健康・福祉分野 | 例：高齢者、障害者、医療・健康、介護、地域福祉など |
| ■子ども・教育分野 | 例：子育て、保育、学校、小中連携、青少年、自然体験など |
| ■文化・市民生活分野 | 例：商業、観光、防災、防犯、コミュニティ、市民活動、平和、男女平等、スポーツ、文化、生涯学習など |
| ■緑・環境分野 | 例：エネルギー、ごみ、緑化、自然、農業など |
| ■都市基盤分野 | 例：景観、都市計画、上水道、下水道、道路、公共交通、自転車、住宅、まちづくりなど |
| ■行財政分野 | 例：市民参加、行政運営、財政運営、情報発信、公共施設マネジメント、職員など |

謝礼 8,000円分のクオカードをお渡しいたします。
（1日につき4,000円分となります。）

定員 60名程度

参加までの流れ

【1】参加いただける方は、いずれかの方法で承諾書（別紙）をご返送ください。

- ・返信用封筒による返送（平成30年5月24日（木）消印有効）同封の返信用封筒によりご返送ください。
- ・FAXによる返送（平成30年5月24日（木）必着）企画調整課宛（FAX 51-5638）まで送信ください。
- ・メールによる返送（平成30年5月24日（木）必着）※件名に「市民ワークショップ」とお入れください。

別紙承諾書の必要事項（1～7）をメールにて、

企画調整課宛（sec-kikaku@city.musashino.lg.jp）に送信ください。

なお、承諾書データ（Word2010）をご希望の場合、その旨メールでご連絡ください。

【2】参加者の決定 返信いただいた皆さまに速やかに結果をご連絡いたします。

もし、参加を承諾された方が60名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたしますが、いずれの場合も返信いただいた皆さまに速やかに結果をご連絡いたします。

（注意事項）参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできません。

その他

・このお知らせは、平成30年4月10日時点で、市内に住民登録のある18歳以上の方から1,000名を無作為に選び、お送りしています。

・託児や手話通訳等が必要な方は、別紙承諾書にご記入ください。

お問い合わせ

武蔵野市 総合政策部 企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1801

FAX 0422-51-5638

E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp



ワークショップ1日目資料 武蔵野市の紹介(1/2)

「むさしのし」ってどんなまち！？
～武蔵野市のプロフィール紹介～

武蔵野市は...

1949年11月3日 市制施行
面積10,986㎡(8926.4㎡、南北3.1km)
人口約14万6千人(人口密度全国213位)

特色のある三駅圏(吉祥寺・中央・武蔵境)

■吉祥寺エリア
多くの商業施設や商店街、井の頭公園、美術館や劇場など多彩なスポットが集まる、にぎわい豊かなエリア。

特色のある三駅圏(吉祥寺・中央・武蔵境)

■中央エリア
市役所・税務署・警察署などの行政機関や、総合体育館・文化会館など中核的な公共施設が集まる。都立武蔵野中央公園や玉川上水、桜並木など憩いの場も多い。

特色のある三駅圏(吉祥寺・中央・武蔵境)

■武蔵境エリア
鉄道の高架化、南北一体の整備、武蔵野プレイスの誕生などでまちの姿が変化。複数の大学や文化施設、仙川・境山野緑地、小金井公園など、水と緑が特徴的な落ち着いたまち。

【健康・福祉】

誰もがいきいきと健康に生き暮らす地域で暮らし続けるために

■デンジョンハウス
地域の実情に応じた市民の「共助」の取り組みに対し、年間1,000万円(デンジョン)を上乗せした運営費補助などを支援
デザイン・サービス・ショートステイなど施設ごとに特色ある事業

●食事を通じた交流と健康維持
●多様な講演会 など

【健康・福祉】

いいきいきサロン事業
5名以上・週1回以上、65歳以上の高齢者が集まる場で介護予防・認知症予防のプログラムを含む活動を行う団体にに対して補助・支援
⇒住み慣れた地域で在宅生活を継続

●リハビリサロン
●吉祥寺さくらフェスティバル
●さくらフェスティバル
●お笑い教室
など いいきいきサロン開催中

【子ども・教育】子どもたちの可能性を守り育む

■0123はらっぱ-0123吉祥寺
0歳から3歳までの乳幼児とその親を対象とした、いつでも自由に来館できる子育て支援施設。1992年に日本初の乳幼児の親子が集う公共施設として「0123吉祥寺」がオープン。

●子どもたちが自由にのびのびと遊べる場
●親民士の交流・学習の場
●子育てについての相談に応じる場
●子育てに関する情報を提供する場
●親子とも自然に触れ、感性を育てる場

【子ども・教育】

■親子ひろば
承認や保護者を対象に、14カ所のコミュニティセンターで開催している遊び場開放のひろば事業。0123施設や探検児童館のスタッフが運営する「親子親子ひろば」と、地域住民の方たちが運営する「collaboration親子ひろば」があります。

■セカンドスクール
市立の小学5年生と中学1年生が、自然豊かな農山漁村に長期滞在し、普段の学校生活では体験できない活動を授業の一環として実施。
小学4年生の「プレセカンドスクール」も実施。

【文化・市民生活】人のつながりの中で紡がれる多様な文化

■武蔵野プレイス
平成23年7月にオープン。武蔵境のまちづくりの一環として、「図書館」「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」等の機能を併せ持った複合機能施設。

【文化・市民生活】人のつながりの中で紡がれる多様な文化

■コミュニティセンター
市民の誰もが利用できる市民運営の多目的施設。市内に20カ所(分館を含む)あり、各地域の市民参加、コミュニティづくりの拠点です。各地域にある16のコミュニティ協議会が運営しています。

■平和への取り組み
市内には戦前～戦中に「中島飛行機武蔵製作所」があり、昭和19年11月24日に初めての空襲を受け、合計9回の空襲で多くの犠牲者が出ました。11月24日を「平和の日」と定め、戦争の悲惨さと平和の大切さを発信するさまざまな事業を行っています。

【文化・市民生活】

■武蔵野地域自由大学
武蔵野市と武蔵野地域の五大学が連携して、継続的・体系的な生涯学習の場を提供(1993年～)

武蔵野大学 成徳大学 東京女子大学 一般学生と授業を聴講する大学正規科目や、各大学の特色を活かした五大学共同事業等、幅広く豊富なカリキュラムを用意

聖徳大学 日本国民生活科学大学

【文化・市民生活】

■総合防災訓練
毎年10月下旬に、大地震を想定した総合防災訓練を実施。市や関係機関、地域住民が一体となり、初期態勢の充実強化を進めています。

■自主防災組織
大きな災害時には近隣住民の助け合いが大切です。地域の防災活動の中核として、震災時に初期消火や救出・救護などに取り組む自主防災組織があり、市と連携して活動しています。

【緑・環境】緑あふれるスマートシティに向けて

■緑の保全・創出
公園など公有地の緑、民有地の樹林・生垣・農地などの緑、玉川上水や山川などの水辺空間、遊歩道、街路樹などによって、緑と水のネットワークを進めています。

■エネルギーの地産地消
低炭素社会の実現に向けて、太陽光発電や、グリーンセンターのこみ発電など、市内でエネルギーを創り(地産)、使う(地消)、「エネルギーの地産地消」を進めています。

【緑・環境】

■武蔵野クリーンセンター
武蔵野市が単独で運営するごみ処理施設。1994年から稼働していた旧クリーンセンターを建て替え、2017年に完成。ごみ発電設備で発電した電力は、隣接の市役所、体育館、緑町コミュニティセンターに供給。ごみの焼却灰は、日の出町の最終処分場に運搬。

■ごみチャレンジ600グラム
環境への負荷や、ごみ処理経費の削減のため、家庭ごみ1人1日当たりのごみ量を、600グラムまで減らしていくことを目指しています。

ワークショップ 1日目資料 武蔵野市の紹介 (2/2)

【都市基盤】良好な住環境を守り安全・快適なまちへ

■ムーバス
平成7年に生まれた全国初のコミュニティバス。市内の交通の不便な地域を解消し、高齢者や小さな子ども連れの方など、誰もが気軽に安全にまらに出られるようにすることが目的です。

- ・100円ワンコイン
- ・7ルート30コース
- ・200m圏内に停留所
- ・年間約260万人が利用



【都市基盤】

■自転車対策
自転車の走行空間の整備、駐輪場の拡充、放棄自転車対策交通ルールやマナーの啓発など、ハード・ソフトの両面から、自転車対策を進めています。

【Before】



【After】



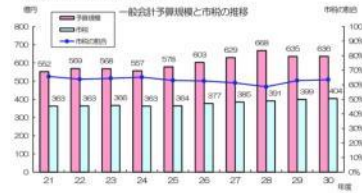
■人口の推移と見通し

- ・市の総人口は、当面は少しずつ増えていく傾向。
- ・少子高齢化で人口の年齢構成が変わっていきます。

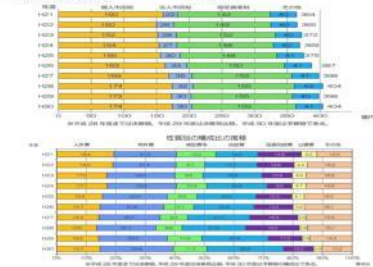


■財政の状況

- ・市の財政は健全な状況を維持しています。
- ・持続可能な財政運営のため、時代の変化に対応した資源配分やさらなる経費削減などの取り組みが必要です。

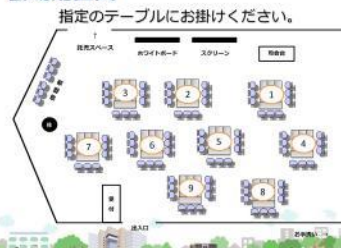


■財政の状況



ワークショップの進行スライド (1/3)

会場配置図



第六期長期計画 無作為抽出市民ワークショップ (第1回) 1日目

武蔵野市総合政策部企画調整課

平成30年6月24日 (日)
13:00~17:00

長期計画とは



- 市の条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画
- 第六期長期計画：2020年度から2029年度まで
- 市民参加・議員参加・職員参加により策定

本日のワークショップについて

- 無作為に抽出した市民1,000名のうち、参加の承諾をいただいた方により行います。
- 普段、市政とあまり関わる機会がない市民の方も含めて、武蔵野市の将来像などについて意見交換していただき、幅広い意見を第六期長期計画策定の参考にさせていただきます。
- 「市民ファシリテーター」の皆さんが本日の進行を行います。

ワークショップの進め方

2日間を通してみなさんと一緒に話しながらくる模造紙とポストイットが成果物になります。
みなさまの意見・提言として策定委員会で活用されます。
いくつかのワークがありますが、基本的には
【個人ワーク】
それぞれがポストイットに意見・コメントを記入する
※1ポストイット1意見・コメント
【グループ共有】
ポストイットを模造紙にはりながらグループに説明・共有という2つを繰り返しながら進んでいきます。

ワークショップの進め方

テーブルには1人ずつみなさんの対話をサポートする進行役（ファシリテーター）が座っています。
時間を有効に活用し、ひとりひとりが意見を出し合えるようお手伝いする役割です。
アイデアや意見には「正解」や「意見の良し悪し」というものは存在しません。
自分の意見と異なったとしても、否定せずに尊重して、ちがいを楽しんで受け入れ合いましょう。
武蔵野市で暮らす当事者として、率直な意見をそのままお話しください。

自己紹介

「わたしのライフヒストリーと武蔵野市」

ひとり3分の持ち時間で
「生い立ち」「これまでの人生の歴史」
「大切にしていること」「武蔵野市との関わり」
などを語って教えてください
お互いに興味を持って「傾聴」をお願いします。

ワーク①

武蔵野市で暮らして
「興味・関心を持っていること」を教えてください

個人ワーク：5分
※1ポストイット1意見・コメント
グループ共有：15分
※ひとり1分を目安に

長期計画の概要について

- 武蔵野市の現状
- 長期計画の分野と施策の紹介
- 今後、論点となりうること

ワークショップの進行スライド (2/3)

ワーク②

武蔵野市で暮らして「**気になっていること**」をさらに教えてください

- 個人ワーク：5分
- ※1ポストイット1意見・コメント
- グループ共有：15分
- ※ひとり1分を目安に

ワーク③

ポストイットを並べ替え・分類して**カテゴリー**をつくりましょう

- グループワーク：15分

ワーク④

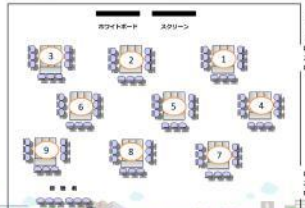
10年後の武蔵野市の「ありたい姿」を考えてみてください

- 個人ワーク：5分
- ※1ポストイット1意見・コメント
- グループ共有：15分
- ※ひとり1分を目安に



会場配置図

指定のテーブルにお掛けください。



本日はありがとうございました。
次回6月30日もよろしくお祈りします。

記入済のアンケートと名札入れは、机の上に置いてお帰りください。
謝礼は、受領書と引き換えとなります。
ご記名の上、出口までお持ちください。

第六期長期計画 無作為抽出市民ワークショップ (第1回) 2日目

武蔵野市総合政策部企画調整課

平成30年6月30日(土)
13:00~17:00

長期計画とは



- 市の条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画
- 第六期長期計画：2020年度から2029年度まで
- 市民参加・議員参加・職員参加により策定

本日のワークショップについて

- 無作為に抽出した市民1,000名のうち、参加の承諾をいただいた方により行います。
- 普段、市政とあまり関わる機会がない市民の方も含めて、武蔵野市の将来像などについて意見交換していただき、幅広いご意見を第六期長期計画策定の参考にさせていただきます。
- 本日の進行も、「市民ファシリテーター」の皆さんが行います。

ワークショップの進め方

2日間を通してみなさんと一緒に話しながらつくる模造紙とポストイットが成果物になります。
みなさまの意見・提言として策定委員会で活用されます。
いくつかのワークがありますが、基本的には

- 【個人ワーク】それぞれがポストイットに意見・コメントを記入する ※1ポストイット1意見・コメント
- 【グループ共有】ポストイットを模造紙にはりながらグループに説明・共有という2つを繰り返しながら進んでいきます。



ワークショップの進め方

テーブルには1人ずつみなさんの対話をサポートする**進行役(ファシリテーター)**が座っています。
時間を有効に活用し、ひとりひとりが意見を出し合えるようお手伝いする役割です。
アイデアや意見には「正解」や「意見の良し悪し」というものは存在しません。
自分の意見と異なったとしても、**否定せずに尊重して**、ちがいを楽しんで受け入れ合いましょう。
武蔵野市で暮らす当事者として、率直な意見をそのままお話しください。

自己紹介

簡単な自己紹介+1日目の感想の共有をお願いします。
10分間でテーブルの全員の自己紹介をお願いします。
お互いに興味を持って「**傾聴**」をお願いします。

本日の流れ

- 第1ラウンド
 1. テーブルごとに**あみだくじ**でテーマ選び
 2. テーマごとの現状について
 3. 「10年後のありたい姿」
 4. 全体共有
- 第2ラウンド
 1. 関心・興味があるテーマを**自由に**選択→テーブル移動
 2. テーマごとの現状について
 3. 「10年後のありたい姿」
 4. 全体共有



テーマ選び

- 1回目は「**あみだくじ**」で決定！
→自分の普段と異なるテーマについても考えて意見を出していただきたい
- 2回目は**話したいテーマ**を選んでください
→関心がある方で深い議論を行うため
例えば、「子育て」・・・している方、これからの方、支援したい方

本日の成果物のイメージ



テーマ一覧

- A: 愛着がある・好きでいられる・武蔵野ブランド
- B: スポーツの熱と文化・芸術の香り
- C: 安心な子育て/地域で子育て
- D: 柔軟な働き方とライフスタイル
- E: 世代や暮らしのちがいを越えた地域のつながり
- F: マイノリティ(LGBT・外国人など)も混ざりあう日常
- G: 緑があふれる・鳥のさえずりが聞こえる自然環境
- H: 防災・防犯への地域の備え
- I: 学生・若い世代のアイデアの活用
- J: 便利で安全な交通網・素敵な景観
- K: 身近に参加できる行政・上手な情報発信
- L: 高齢者・障がい者への優しい福祉・医療
- M: ハコモノの有効活用



ワークショップの進行スライド (3 / 3)

ワーク①-1

10年後の「ありたい姿」に対して
武蔵野市の「現状」を考えてみてください。
できていることなどのポジティブな面、
課題などのネガティブな面、両面からお願いします。

個人ワーク：5分
※1ポストイット1意見・コメント
グループ共有：15分
※ひとり1分を目安に

ワーク①-2

「ありたい姿」を実現するためには
どんな方法があるでしょうか。
武蔵野市として取り組むこと、企業・産業で努力すること、
みなさん自身でできることなど、
様々なアイデアを考えてみてください。

個人ワーク：5分
※1ポストイット1意見・コメント
グループ共有：10分
※ひとり1分を目安に

テーマ選び

- ①「本日の話し合いテーマ一覧」から、
話したい・興味があるものを選んでください
- ②挙手いただいて大体の人数を確認します
- ③どのテーブルでどのテーマを話すかをお伝えします
- ④選んだテーマのテーブルに移動してください

— 15分間 休憩 —

テーマ一覧

- A：愛着がある・好きでいられる・武蔵野ブランド
- B：スポーツの熱と文化・芸術の香り
- C：安心な子育て／地域で子育て
- D：柔軟な働き方とライフスタイル
- E：世代や暮らしのちがいを越えた地域のつながり
- F：マイノリティ(LGBT・外国人など)も混ざりあう日常
- G：緑があふれる・鳥のさえずりが聞こえる自然環境
- H：防災・防犯への地域の備え
- I：学生・若い世代のアイデアの活用
- J：便利で安全な交通網・素敵な景観
- K：身近に参加できる行政・上手な情報発信
- L：高齢者・障がい者への優しい福祉・医療
- M：八コモノの有効活用

自己紹介

簡単な自己紹介+1ターン目の共有を
お願いします。

10分間でテーブルの全員の自己紹介をお願いします。
お互いに興味を持って「傾聴」をお願いします。

ワーク②-1

10年後の「ありたい姿」に対して
武蔵野市の「現状」を考えてみてください。
できていることなどのポジティブな面、
課題などのネガティブな面、両面からお願いします。

個人ワーク：5分
※1ポストイット1意見・コメント
グループ共有：15分
※ひとり1分を目安に

ワーク②-2

「ありたい姿」を実現するためには
どんな方法があるでしょうか。
武蔵野市として取り組むこと、企業・産業で努力すること、
みなさん自身でできることなど、
様々なアイデアを考えてみてください。

個人ワーク：5分
※1ポストイット1意見・コメント
グループ共有：10分
※ひとり1分を目安に



本日はありがとうございました！

記入済のアンケートと名札入れは、
机の上に置いてお帰りください。
謝礼は、受領書と引き換えとなります。
ご記名の上、出口までお持ちください。

机上配布資料 話し合いの方法（表面）

★本日は無作為抽出市民ワークショップにご参加いただきありがとうございます★

名札にお名前をご記入ください（本名でも、ニックネームでも構いません）。

◆本日の流れ（6月30日@市役所 811 会議室）

13:00 ～13:30	○あいさつ・事務連絡 ○ワークショップの説明 ○自己紹介
13:30 ～15:00	○グループワーク ○2 ターン目のテーマ決め
15:00 ～15:15	○休憩・席移動
15:15 ～16:00	○グループワーク
16:00 ～16:30	○全体共有
16:30 ～17:00	○事務連絡

※時間は目安です。

◆話し合いのルール

- ☆ グループの全員の皆さんが発言できるようにご配慮ください。
- ☆ アイディアや意見には「正解」、「意見の良し悪し」というものではありません。
- ☆ 自分と異なる意見も、否定せずに尊重して、ちがいを楽しんで受け入れあいましょう。
- ☆ 武蔵野市で暮らす当事者としての率直な意見をそのままお話しください。

◆長期計画に関する情報をお送りします！

～皆さまのご意見の行先が気になりませんか？～

このたびは、無作為抽出ワークショップにご参加いただき、ありがとうございます。これも何かの縁ですので、よろしければ、今後の長期計画のイベントや情報について、登録いただいたメールアドレス宛てにお送りします。

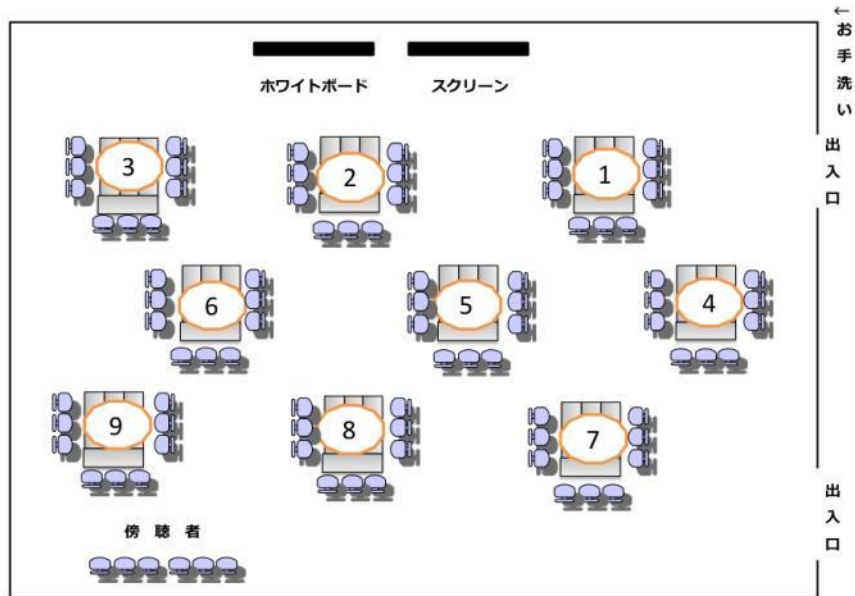
お手数ですが、下記のとおり、入力いただき、企画調整課宛まで送信ください。

- ・件名 「市民 WS メール希望」
- ・本文 「氏名」をご記入ください

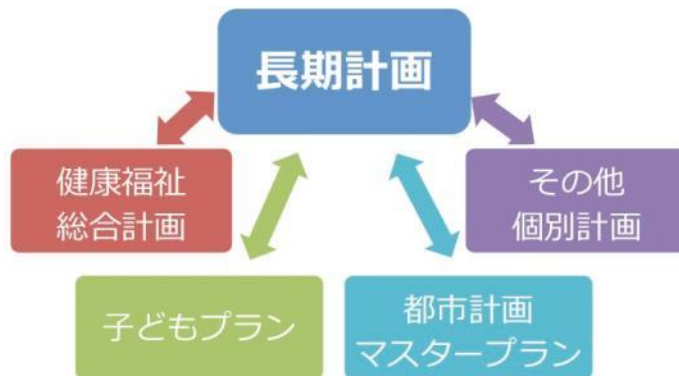
宛先
武蔵野市総合政策部企画調整課
SEC-KIKAKU@city.musashino.lg.jp



【会場配置図】



【長期計画とは】



- 市の条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画
- 第六期長期計画：2020年度から2029年度まで
- **市民参加**・議員参加・職員参加により策定

机上配布資料 2日目のテーマ一覧

本日の話し合いテーマ一覧

- A : 愛着がある・好きでいられる・武蔵野ブランド
- B : スポーツの熱と文化・芸術の香り
- C : 安心な子育て／地域で子育て
- D : 柔軟な働き方とライフスタイル
- E : 世代や暮らしのちがいを越えた地域のつながり
- F : マイノリティ(LGBT・外国人など)も混ざりあう日常
- G : 緑があふれる・鳥のさえずりが聞こえる自然環境
- H : 防災・防犯への地域の備え
- I : 学生・若い世代のアイデアの活用
- J : 便利で安全な交通網・素敵な景観
- K : 身近に参加できる行政・上手な情報発信
- L : 高齢者・障がい者への優しい福祉・医療
- M : ハコモノの有効活用

テーマの選び方

- 1 回目は「**あみだくじ**」で決定！
→自分の普段と異なるテーマについても
考えて意見を出していただきたいため
- 2 回目は**話したいテーマ**を選んでください
→関心がある方で深い議論を行うため
例えば、「**子育て**」・・・している方
していた方
これからの方
支援したい方

1 日目参加者アンケート（表面）

参加者アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。今後の事業の参考とするため、ぜひアンケートにご協力ください。（該当する番号を○で囲んでください。）

1 ご自身について回答をお願いします。

- (1) 性別 ①男性 ②女性
- (2) 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上
- (3) ご住所 ①吉祥寺東町 ②吉祥寺南町 ③御殿山 ④吉祥寺本町 ⑤吉祥寺北町 ⑥中町
⑦西久保 ⑧緑町 ⑨八幡町 ⑩関前 ⑪境 ⑫境南町 ⑬桜堤
- (4) ご職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト
⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他（ ）
- (5) 武蔵野市での居住年数 ①1年未満 ②1年以上5年未満 ③5年以上10年未満 ④10年以上

2 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？（いくつでも）

- ① 無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。
② 市政に興味があったから。
③ 長期計画やその策定過程に興味があったから。
④ 市民として何か活動してみたいと思っていたから。
⑤ 報酬がよかった（魅力的だった）から。
⑥ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。
⑦ 今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。
⑧ たまたま日程が合ったから。
⑨ その他（ ）

3 参加された感想をお聞かせください。

- ① おもしろかった。楽しかった。 ② おもしろくなかった。つまらなかった。
③ どちらでもない。 ④ その他（ ）

4 これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？（いくつでも）

- ① 計画策定等の委員として参加 ② 計画策定等の委員会の傍聴
③ 個人としての意見提出（パブリックコメント等）
④ 団体（NPO・コミュニティ協議会など）として意見提出
⑤ 市民と市長のふれあいトークに出席 ⑥ 市民（住民）説明会に出席
⑦ 参加したことがない ⑧ その他（ ）

5 今回のワークショップの案内をご覧になる前、武蔵野市の長期計画についてどの程度ご存知でしたか？

- ① 全く知らなかった。 ② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。
③ 読んだことがある。 ④ その他（ ）

2日目参加者アンケート（表面）

参加者アンケート（6月30日用）

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。今後の事業の参考とするため、ぜひアンケートにご協力ください。（該当する番号を○で囲んでください。）

1 ご自身について回答をお願いします。

(1) 性別 ①男性 ②女性

(2) 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

(3) ご住所 ①吉祥寺東町 ②吉祥寺南町 ③御殿山 ④吉祥寺本町 ⑤吉祥寺北町 ⑥中町
⑦西久保 ⑧緑町 ⑨八幡町 ⑩関前 ⑪境 ⑫境南町 ⑬桜堤

(4) ご職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト
⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他（ ）

(5) 武蔵野市での居住年数 ①1年未満 ②1年以上5年未満 ③5年以上10年未満 ④10年以上

2 6月24日のワークショップに参加されましたか？

① はい→裏面の質問9番からお答えください。

② いいえ→下の3番から順にお答えください。

3 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？（いくつでも）

① 無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。

② 市政に興味があったから。

③ 長期計画やその策定過程に興味があったから。

④ 市民として何か活動してみたいと思っていたから。

⑤ 報酬がよかった（魅力的だった）から。

⑥ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。

⑦ 今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。

⑧ たまたま日程が合ったから。

⑨ その他（ ）

4 参加された感想をお聞かせください。

① おもしろかった。楽しかった。 ② おもしろくなかった。つまらなかった。

③ どちらでもない。 ④ その他（ ）

5 これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？（いくつでも）

① 計画策定等の委員として参加 ② 計画策定等の委員会の傍聴

③ 個人としての意見提出（パブリックコメント等）

④ 団体（NPO・コミュニティ協議会など）として意見提出

⑤ 市民と市長のふれあいトークに出席 ⑥ 市民（住民）説明会に出席

⑦ 参加したことがない ⑧ その他（ ）

6 今回のワークショップのご案内をご覧になる前、武蔵野市の長期計画についてどの程度ご存知でしたか？

① 全く知らなかった。 ② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。

③ 読んだことがある。 ④ その他（ ）

裏面に続く

武蔵野市第六期長期計画 無作為抽出市民ワークショップ報告書
(平成 30 年 6 月 24 日・30 日開催)

平成 30 年 9 月発行

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28
電話 0422-60-1801 (直通)

